

DEH-P530

CD/USB/チューナー・WMA/MP3/AAC/WAV対応メインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

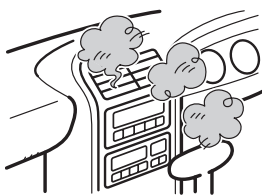
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

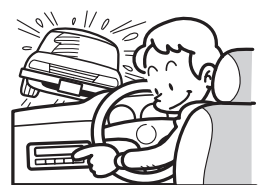
ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 本書のみかた | 8 |
| 2 | 各部のなまえ | 9 |
| 3 | ご使用になる前に | 12 |
| 4 | サブウーファーの設定について | 14 |

ここだけ読めばすぐ使えます

ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | 基本的な操作 | 16 |
| | ● 電源をONにする | |
| | ● ソースを切り換える | |
| | ● 音量を調節する | |
| | ● 電源をOFFにする | |
| 2 | CDのふだんの操作 | 18 |
| | ● CDを再生する | |
| | ● フォルダー（ディスク）を選ぶ | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り・早戻しする | |
| 3 | ● CDを取り出す | |
| | ラジオのふだんの操作 | 20 |
| | ● バンドを選ぶ | |
| | ● プリセット番号順に受信する | |
| | ● 放送局を選ぶ | |
| 4 | USB機器のふだんの操作 | 21 |
| | ● USB機器の曲を再生する | |
| | ● フォルダーを選ぶ | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り・早戻しする | |
| 5 | iPodのふだんの操作 | 22 |
| | ● iPodの曲を再生する | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り・早戻しする | |
| 6 | よく使う機能をボタンですぐに操作する | 23 |

CD

CDを聞く

- | | | |
|----|-----------------------|----|
| 1 | ファンクションメニューの切り換えかた | 24 |
| 2 | 繰り返し再生する | 25 |
| 3 | 違う曲順で再生する | 26 |
| 4 | 曲／フォルダー／ディスクを探す | 26 |
| 5 | 再生を一時停止する | 27 |
| 6 | 音声を高音質化する | 28 |
| 7 | CDのタイトルを入力する | 28 |
| 8 | 音を聞きやすくする | 29 |
| 9 | 聞きたい曲を指定する | 30 |
| 10 | 指定した曲だけ再生する | 31 |
| 11 | 曲の指定を1曲ずつ解除する | 32 |
| 12 | 曲の指定をCDごとに解除する | 33 |
| 13 | タイトルやアーティスト名を表示する | 34 |
| 14 | タイトルを見て聞きたいフォルダーや曲を探す | 35 |
| 15 | 曲名を見て聞きたい曲を探す | 36 |
| 16 | タイトルを見て聞きたいCDを探す | 36 |

ラジオ

ラジオを聞く

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | ファンクションメニューの切り換えかた | 38 |
| 2 | 複数の放送局を自動的に登録する | 38 |
| 3 | 放送局を1局ずつ登録する | 39 |
| 4 | 登録した放送局を呼び出す | 39 |

USB

USB 機器を聞く

- | | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | ファンクションメニューの切り換えかた | 40 |
| 2 | 繰り返し再生する | 40 |
| 3 | 違う曲順で再生する | 41 |
| 4 | 曲を探す | 41 |
| 5 | 再生を一時停止する | 42 |
| 6 | 音声を高音質化する | 43 |
| 7 | タイトルやアーティスト名を表示する | 43 |
| 8 | タイトルを見て聞きたいフォルダーや曲を探す | 44 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここだけ読めば
すぐ使えます

iPod

iPod を聞く

- | | | |
|----|-------------------------|----|
| 1 | 聞きたい曲を探す | 46 |
| 2 | ファンクションメニューの切り換えかた | 47 |
| 3 | 繰り返し再生する | 48 |
| 4 | 違う曲順で再生する | 48 |
| 5 | すべての曲をシャッフルしてから再生する | 49 |
| 6 | アルバムリストにショートカットする | 49 |
| 7 | iPod から本機の iPod 機能を操作する | 50 |
| 8 | 再生を一時停止する | 51 |
| 9 | オーディオブックの再生速度を変更する | 51 |
| 10 | 音声を高音質化する | 52 |
| 11 | タイトルやアーティスト名を表示する | 52 |

はじめに

CD を聞く

ラジオを聞く

USB 機器を聞く

iPod を聞く

BT AUDIO を聞く

携帯電話を使う

テレビを見る

音を調節する

初期設定

便利な機能

その他 (付録)

BT Audio

BT AUDIO を聞く

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | BT Audio のふだんの操作 | 54 |
| 2 | ファンクションメニューの切り換えかた | 55 |
| 3 | 本システムのデバイス情報を確認する | 56 |

目次

携帯電話

携帯電話を使う

- | | | |
|----|------------------------|----|
| 1 | 電話の待ち受けソースにする | 58 |
| 2 | 音声操作で電話をかける | 59 |
| 3 | かかってきた電話に出る | 59 |
| 4 | かかってきた電話を切る
(着信拒否) | 60 |
| 5 | ファンクションメニューの
切り換えかた | 61 |
| 6 | 携帯電話を接続する | 63 |
| 7 | Bluetooth 接続を解除する | 64 |
| 8 | 携帯電話を登録する | 64 |
| 9 | 登録されている携帯電話を接続する | 65 |
| 10 | 携帯電話の登録を削除する | 66 |
| 11 | 履歴から電話をかける | 66 |
| 12 | データを消去する | 67 |
| 13 | 電話番号を入力して電話をかける | 67 |
| 14 | 通話中のノイズやエコーを軽減する | 68 |
| 15 | 着信音を ON / OFF する | 68 |
| 16 | 着信拒否を設定する | 69 |
| 17 | 自動着信を設定する | 69 |
| 18 | 本システムのデバイス情報を
確認する | 70 |

テレビ

テレビを見る

- | | | |
|---|----------------------------|----|
| 1 | テレビのふだんの操作 | 72 |
| 2 | ファンクションメニューの
切り換えかた | 73 |
| 3 | チャンネル一覧から見たい
チャンネルを呼び出す | 73 |

音の調節

音を調節する

- | | | |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | オーディオ調整メニューの
切り換えかた | 74 |
| 2 | 前後左右の音量バランスを調節する | 75 |
| 3 | イコライザーカーブを選択する | 76 |
| 4 | イコライザーカーブを
だまかに補正する | 77 |
| 5 | イコライザーカーブを
細かく調節する | 77 |
| 6 | 小さな音量でも聞きやすくする | 78 |
| 7 | サブウーファーを使う | 79 |
| 8 | サブウーファーの ON / OFF と
位相切り換え | 79 |
| 9 | サブウーファーのカットオフ
周波数選択とレベル調節 | 80 |
| 10 | 低い音を出力しない | 81 |
| 11 | 低い音を強調する | 82 |
| 12 | 各ソースの音量をそろえる | 82 |

CONTENTS

初期設定

- 1 初期設定メニューの切り換えかた 84
- 2 時計を合わせる 85
- 3 外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする 85
- 4 リアスピーカー出力端子/RCA出力端子の設定をする 86
- 5 スクロールの設定を切り換える 87
- 6 BluetoothオーディオソースをONにする 88
- 7 Bluetoothのパスコードを変更する 88
- 8 Bluetoothのバージョンを表示する 89
- 9 イルミネーションの色を調節する 90

便利な機能

便利な機能

- 1 時計を表示する 92
- 2 交通情報を受信する 92
- 3 ボタンのイルミネーションの色を切り換える 93
- 4 ディスプレイの色を切り換える 93
- 5 外部機器の名称を入力する 94
- 6 ミュート機能について 94
- 7 エクスターナルユニットを使う 95

その他

その他 (付録)

- 1 CDの正しい使いかた 96
- 2 再生できる圧縮オーディオファイルについて 98
- 3 USB機器について 100
- 4 iPodについて 102
- 5 ディスク上の圧縮オーディオファイルについて 102
- 6 故障かな?と思ったら 104
- 7 こんなメッセージが表示されたら 106
- 8 保証書とアフターサービス 109
- 9 おもな仕様 110

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

すぐ使えます
ここだけ読めば

- はじめに
- CDを聞く
- ラジオを聞く
- USB機器を聞く
- iPodを聞く
- BT AUDIOを聞く
- 携帯電話を使う
- テレビを見る
- 音を調節する
- 初期設定
- 便利な機能
- その他 (付録)

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。CDやラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外の便利な機能については、「CDを聞く」や「ラジオを聞く」、「音を調節する」など、それぞれの項目をお読みください。

マークについて



注意マーク

安全のために必ず守っていただきたいこと、本機を操作するときの注意事項、性能を維持するための注意事項について説明しています。



用語説明マーク

操作や機能などの用語について説明しています。



メモマーク

操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明しています。



CDマーク

内蔵CDでCDを再生するときの操作方法を説明しています。



CD-ROMマーク

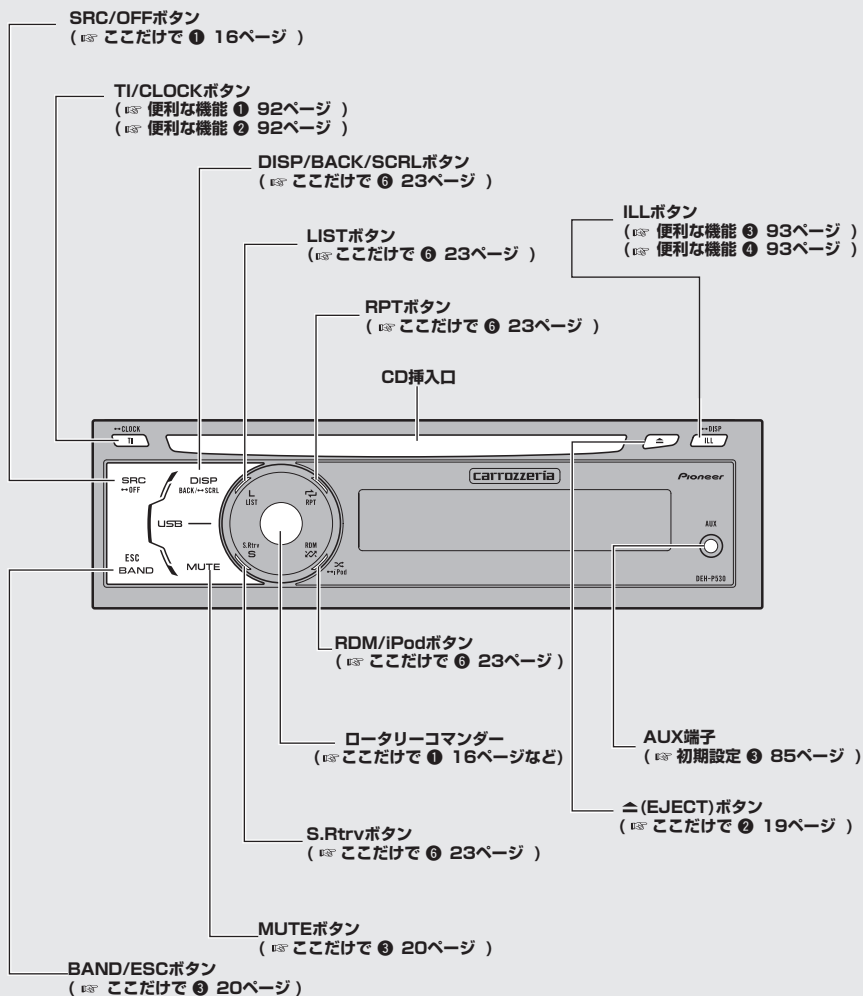
内蔵CDでWMA／MP3／AAC／WAVファイルを再生するときの操作方法を説明しています。



マルチCDマーク

別売のマルチCDを本機に接続して使用するときの操作方法を説明しています。

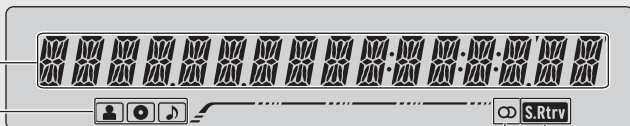
本体



ディスプレイ

メイン表示部

バンドと周波数 (ラジオ)
再生経過時間 (オーディオCD)
フォルダー番号、再生経過時間 (WMA/MP3/AAC/WAV)
ディスク番号、再生経過時間 (マルチCD)
各種設定内容 (ファンクション/オーディオ/初期設定) などを表示します



アーティスト表示インジケータ

通常画面にアーティスト名が表示されているときに点灯します
iPodでブラウズして、アーティストで絞り込んだときに点灯します

ディスクタイトル/アルバムタイトル表示インジケータ

通常画面にディスクタイトルが表示されているときに点灯します
iPodでブラウズして、アルバムタイトルで絞り込んだときに点灯します

トラックタイトル表示インジケータ

通常画面にトラックタイトルが表示されているときに点灯します
iPodでブラウズして、トラックタイトルで絞り込んだときに点灯します

サウンドレトリバーインジケータ

サウンドレトリバーがONのときに点灯します

ステレオインジケータ

ステレオ放送の受信中に点灯します

メニュー表示インジケータ

メニューおよびリスト表示中に、上または下の階層に移動できるときに点灯します

リスト表示インジケータ

リスト表示時に点灯します

SWインジケータ

サブウーファーがONのときに点灯します

F-RPTインジケータ

フォルダーリピート時に点灯します (WMA/MP3/AAC/WAV)

F-RDMインジケータ

フォルダーランダム時に点灯します (WMA/MP3/AAC/WAV)

RPTインジケータ

リピートプレイ時に点灯します

RDMインジケータ

ランダムプレイ時に点灯します

シャッフルインジケータ

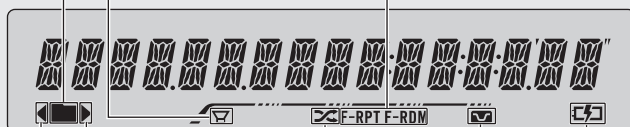
iPodでシャッフル機能を使用しているときに点灯します

iPodインジケータ

USB-iPODソースが選ばれているときに点灯します

LOUDインジケータ

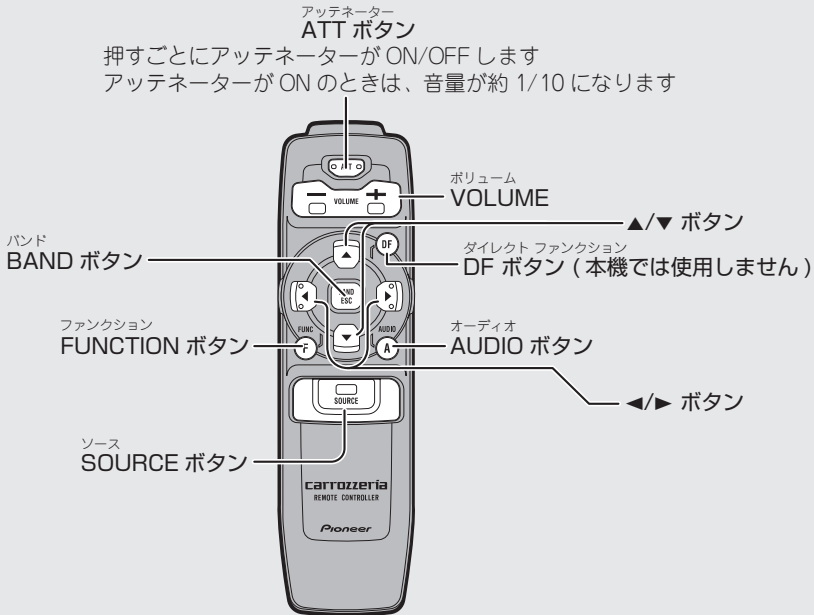
ラウドネスがONのときに点灯します



別売のリモコン「CD-R660」について

別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作できます。

リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

- 別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR 100」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。
- ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

USB 機器コントロール対応



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにUSB機器のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、USB インターフェイス付きのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。対応するUSB機器については (※ その他 ③ 100 ページ)

- 本機は、USB ポータブルオーディオプレーヤーやUSB Mass Storage Class 対応のUSB メモリーに収録されているWMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できます。対応する圧縮ファイルについては (※ その他 ② 98 ページ)

iPod コントロール対応



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、iPodを本機のUSBインターフェイスに接続して操作できます。

- 本機で使用できるiPodは次のモデルです。
 - ー iPod nano
 - ー 第5世代以降のiPod

また、最新のバージョンのソフトウェアを使用することをおすすめします。

- iPodを接続するには、iPod用USB変換ケーブル (例：「CD-IU50」) が必要です。

- 上記以前のiPodは、当社のiPodアダプター (例：「CD-IB10II」) と組み合わせると、本機から操作できます。この場合、ほとんどの機能は、本機のUSBインターフェイスに接続したiPodと同様に操作できます。ただし、Podcastやオーディオブックに関する機能は、操作できません。
- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



メモ

- iPod接続時のご注意やiPodの設定については (※ その他 ④ 102 ページ)

WMA について



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって、開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

AACについて

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、iTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、.m4a以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。

iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」は、CDのタイトル／歌手名／曲名などの文字情報が記録されたCDです。「CD TEXT」には基本的に、ディスクタイトル面に次のマークが付いています。ただし、次のマークが付いていない「CD TEXT」もあります。



50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能は操作できません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、ディスクリストには切り換わりません。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

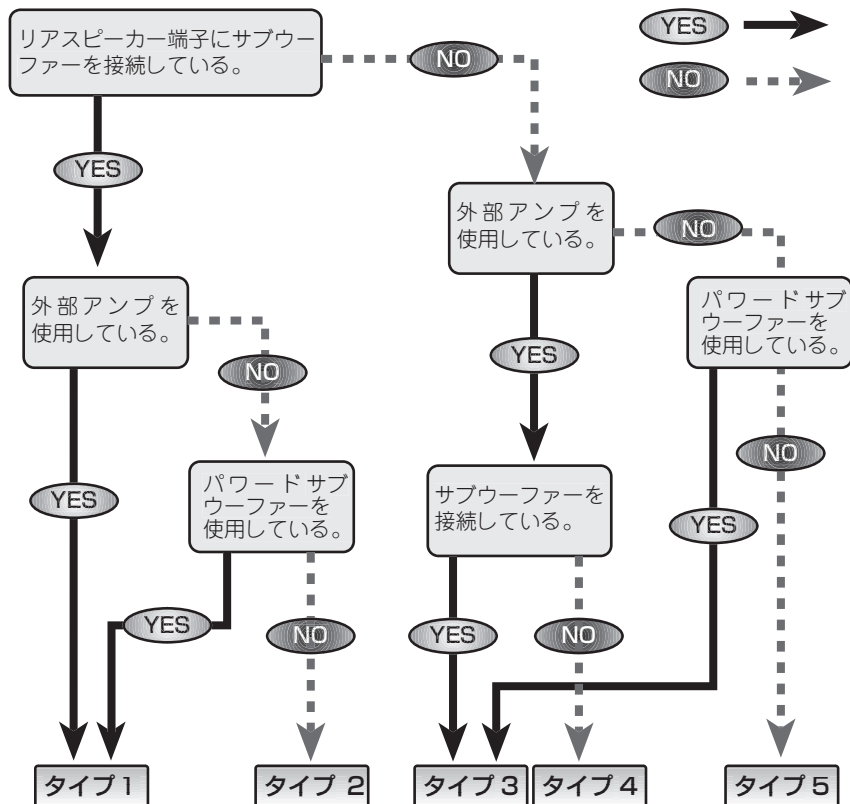


ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは（※**ラジオ ③ 39ページ**）、時計調整は（※**初期設定 ② 85ページ**）を参照して、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

サブウーファーの設定について

本機にサブウーファーを組み合わせている場合、本機を使ってサブウーファーの設定ができます。サブウーファーの設定方法は、接続方法やシステムによって大きく異なります。次の表に従い、お手持ちのシステムに合わせて、サブウーファーを正しく設定してください。



タイプ 1

- ※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。
- ※パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :SUB Wにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
2. オーディオ調節メニューで、SW SETTING 1をONにする
(**音の調節 ⑧ 79 ページ**)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(**音の調節 ① 74 ページ**)

タイプ 2

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :SUB Wにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
2. オーディオ調節メニューで、SW SETTING 1をONにする
(**音の調節 ⑧ 79 ページ**)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(**音の調節 ① 74 ページ**)

タイプ 3

- ※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。
- ※パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :FULLにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定を PREOUT :SUB Wにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
3. オーディオ調節メニューで、SW SETTING 1をONにする
(**音の調節 ⑧ 79 ページ**)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(**音の調節 ① 74 ページ**)

タイプ 4

- ※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :FULLにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定を PREOUT :REARにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
3. オーディオ調節メニューで、SW SETTING 1をOFFにする
(**音の調節 ⑧ 79 ページ**)

タイプ 5

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :FULLにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定を PREOUT :REARにする
(**初期設定 ④ 86 ページ**)
3. オーディオ調節メニューで、SW SETTING 1をOFFにする
(**音の調節 ⑧ 79 ページ**)

ここだけで

1

基本的な操作

1 電源を ON にする

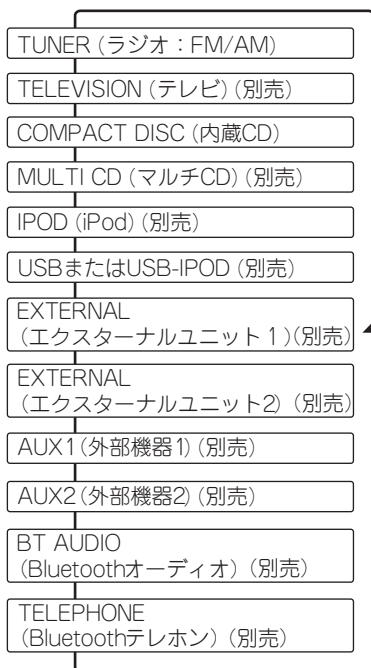
SRC/OFF ボタンを押す

本機の電源が入ります。

2 ソースを切り換える

SRC/OFF ボタンを押す

SRC/OFF ボタンを押すごとに、次の順序でソースが切り換わります。



3 音量を調節する

ロータリーコマンドーを回す

大きくするとき：右に回す

小さくするとき：左に回す

●4秒間、音量が表示されます。

4 電源を OFF にする

SRC/OFF ボタンを長く押す

本機の電源が切れます。



ソースとは

- SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、内蔵 CD やラジオなどの音源のことです。



External (エクスターナルユニット) とは

- 本機には、エクスターナルという特殊なソースがあります。このソースには、本機がソースとして対応していない製品(将来発売されるパイオニア製品など)を接続できます。ただしエクスターナルでは、操作できる機能が限られる場合があります。
本機には、2台のエクスターナル製品を接続できます。この場合、エクスターナル1とエクスターナル2が自動で設定されます。



メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- 音量の調整範囲は0~62です。
- ディスクをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (※ 初期設定 ④ 85 ページ) をONにしないと、AUX1 / AUX2には切り換わりません。
- AUX1は初期設定ではONに設定されていません。使用しない場合はOFFに設定してください。(※ 初期設定 ④ 85 ページ)
- 本機の青リード線 (アンテナコントロール) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- CDをセットしたまま電源をOFFにすることもできます。
- 電源がOFFのときでも、EJECT ボタンを押してCDを取り出すことができます。
- 時計を表示させている場合、電源をOFFにしても時計は表示されます。

テレビを接続したときは

操作のしかたは、テレビの取扱説明書もご覧ください。

テレビ (例: 「AVX-P7」) の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作します。

ここだけ読めば
すぐ使えます

ここだけで **2** CDのふだんの操作

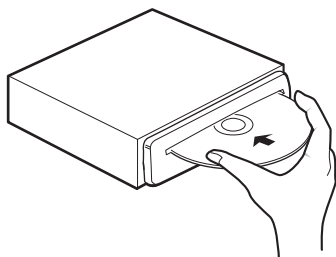
画面例



1 CDを再生する



CDをCD挿入口に差し込む



再生が始まります。



ソースがマルチCDになるまで、SRCボタンを押す

2 フォルダー（ディスク）を選ぶ



ロータリーコマンドを上下に操作する

次のフォルダー（ディスク）を選ぶ：
上に操作する

前のフォルダー（ディスク）を選ぶ：
下に操作する

3 曲を選ぶ（または早送り・早戻しする）



ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する

前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り・早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける

早戻し：左に操作し続ける

4 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



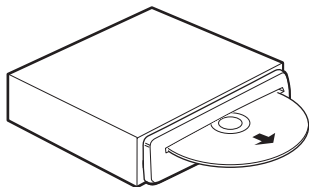
再生が終わります

5 CDを取り出す



▲ ボタンを押す

CDが出てきます。



知っている则便利

- WMA / MP3 / AAC / WAV 再生時は、BAND ボタンを長く押すと、フォルダー-01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー-01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- ディスクをセットしたまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND ボタンを押します。再生は、切り換えた側の一番先頭の曲から始まります。



メモ

- 「CD TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスクでは、ディスクタイトル、曲名などを表示できます (※ CD 34 ページ)。表示を切り換えている場合は、ディスクを挿入したときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、タイトルを自動的にスクロール表示します。「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときも、ソースをマルチCDに切り換えると、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを早送り / 早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを早送り / 早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「FORMAT READ」と表示されます。
- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると、「READY」と表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」と表示されます。



ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- CD挿入口には、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしで再生できます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。CD挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。

ここだけ読めば
すぐ使えます

ここでだけ 3 ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ / プリセット番号順に受信する / 放送局を選ぶ

画面例



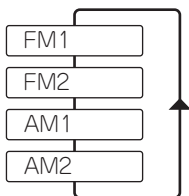
1 ソースを TUNER にする

ソースが TUNER になるまで SRC ボタンを押す

2 バンドを選ぶ

BAND / ESC ボタンを押す

押すごとに、次の順序でバンドが切り換わります



3 プリセット番号順に受信する

ロータリーコマンドを上下に操作し
プリセット番号を選ぶ

(ラジオ 4 39 ページ)

4 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ：
右に操作する

低い周波数の放送局を選ぶ：
左に操作する

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ：
右に長く操作して離す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ：
左に長く操作して離す

5 他のソースに切り換える か、電源を OFF にする

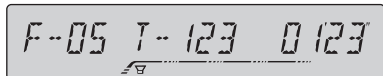
ラジオの受信が終わります



知っていると便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ロータリーコマンドを左右に操作している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

画面例



1 USB 機器の曲を再生する

USB 機器を接続する

再生が始まります。

2 フォルダーを選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する

次のフォルダーを選ぶとき：上に操作する
前のフォルダーを選ぶとき：下に操作する

3 曲を選ぶ（または早送り・早戻しする）

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する
前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に長く操作する
早戻し：左に長く操作する

4 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする

USBの再生が終わります

すぐ使えます
ここだけ読めば



ご注意

- 対応するUSB機器をご使用ください。ただし、対応するUSB機器でも正しく動作しない場合があります。(※ **その他** ⑩ 100ページ)
- 本機は、USBポータブルオーディオプレーヤー／USBメモリーが接続されると、USBソースに自動で切り換わります。これらの機器を使用しないときは、本機から取り外してください。接続する機器によっては、接続したままエンジンをONにした場合、意図せずにUSBソースに自動で切り換わってしまうことがあります。



知っている则便利

- USB機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- BANDボタンを長く押しと、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。



メモ

- USB機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチがACCまたはONになっているときにUSB機器のバッテリーが充電されます。
- USBソースでは、接続したUSB機器の情報を読みとる間、「FORMAT READ」と表示されます。USB機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。

ここだけで **5** iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する / 曲を選ぶ / 早送り・早戻しする

iPod 用 USB 変換ケーブル（例：「CD-IU50」）を使用して iPod を本機に接続すると、iPod を本機から「USB」ソースとして操作できます。対応している iPod について詳しくは（※ はじめに ④ 12 ページ）

iPod アダプター（例：「CD-IB10II」）と組み合わせて iPod を接続している場合は、「IPOD」ソースになります。

画面例



1 iPod の曲を再生する

■ USB で接続するとき

iPod を接続する

再生が始まります。

■ iPod アダプターで接続するとき

iPod を接続して、ソースが IPOD になるまで SRC/OFF ボタンを押す

2 曲を選ぶ（または早送り・早戻しする）

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する

前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に長く操作する

早戻し：左に長く操作する

3 他のソースに切り換えるか、電源を OFF にする

iPod の再生が終わります



ご注意

- 「IPOD」ソースでは、Podcast やオーディオブックに関する機能は操作できません。
- 再生範囲が 1 曲リピート有的时候は、ロータリーコマンドを左右に操作して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- iPod を本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。



メモ

- 再生しているオーディオブックや Podcast にチャプターがある場合、チャプターが選べます。
 - ・次のチャプターを選ぶ：ロータリーコマンドを右に操作する
 - ・前のチャプターを選ぶ：ロータリーコマンドを左に操作する
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を ON / OFF することはできません。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。
- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については（※ その他 ④ 102 ページ）

LIST ボタン

- ラジオ、テレビソース時に押すと、チャンネルリストを表示します。(☞ **ラジオ 4 39 ページ**、☞ **テレビ 3 73 ページ**)
- 内蔵CD、マルチCD、USB ソース時に押すと、トラック、ディスク、フォルダー/ファイルリストを表示します。(☞ **CD 14 15 16 35、36 ページ**、☞ **USB 8 44 ページ**)
- iPod ソース時に押すと、ブラウザモードになります。(iPod 1 46 ページ)
- USB ソースでiPodを使用しているときに長く押すと、再生中のアーティストのアルバムリストを表示します。(iPod 6 49 ページ)
- TELEPHONE ソース時に押すと、不在着信/発信/着信の履歴リスト表示を切り換えます。(携帯電話 11 66 ページ)



メモ

- リスト表示中にLIST ボタンを押すと、ふだんの再生画面に戻ります。

DISP/BACK/SCRL ボタン

- 押すごとに、ディスプレイの表示を切り換えることができます。
- 長く押すことで、ディスプレイのタイトル表示をスクロールできます。
- ファンクションメニューやオーディオメニュー、初期設定メニューの表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。

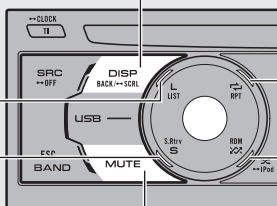


ご注意

- 1つ上に階層がない場合は無効です。
- ファンクションメニューやオーディオメニューの表示中に長く押すと、メインメニューに戻ります。

RPT ボタン

- COMPACT DISC、IPOD、USB、MULTI CD ソース時に押すと、再生範囲の設定を切り換えることができます。



S.Rtrv ボタン

- COMPACT DISCまたはUSBソース時に押すと、サウンドレトリバーの設定を切り換えることができます。(☞ **CD 6 28 ページ**、☞ **USB 6 43 ページ**、☞ **iPod 10 52 ページ**)

RDM/iPod ボタン

- COMPACT DISCまたはUSBソース時に押すと、ランダムプレイのON/OFFを切り換えることができます。
- USBでiPodを使用しているときに押すと、全曲シャッフルがONになります。
- USBでiPodを使用しているときに長く押すと、コントロールモードを切り換えることができます。(☞ **iPod 7 50 ページ**)
- IPOD ソース時に押すと、シャッフルの設定を切り換えることができます。

MUTE ボタン

- 押すと音声ミュートされます。もう一度押すと、ミュートが解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

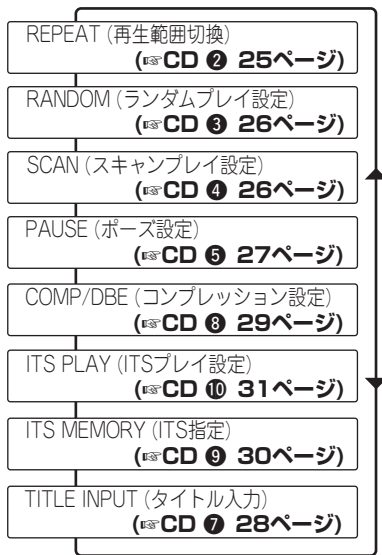
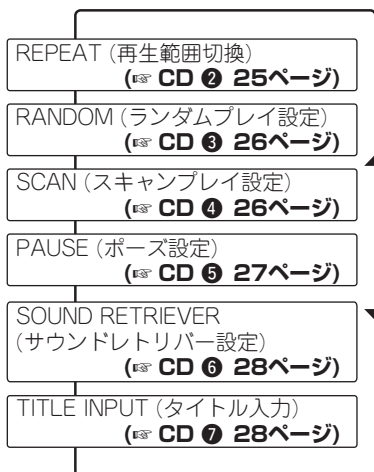
メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります



メモ

- ファンクションメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。(30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生しているときは、タイトル入力は選べません。
- 「CD TEXT」には、タイトルを入力できません。「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力は選べません。

繰り返し再生する

再生範囲切換

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲は、ソースやディスクによって異なります。

1 REPEAT にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の再生範囲が表示されます

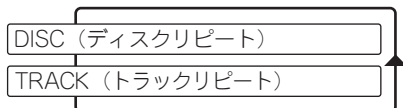
画面例



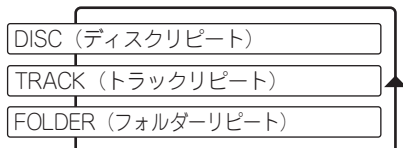
3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で再生範囲が切り換わります

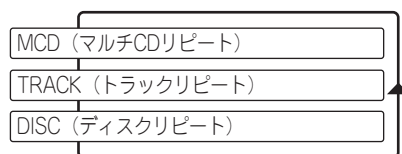
CD



CD-ROM



M-CD



ディスクリピート：

今聞いているディスクを繰り返し再生します。

トラックリピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：

今聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

マルチCDリピート：

マルチCDにセットされているすべてのディスクを繰り返し再生します。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 選んだ再生範囲は、次の機能の再生範囲に影響します。
 - ・ ランダムプレイ
 - ・ スキャンプレイ
 - ・ ITSプレイ
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲（WMA／MP3／AAC／WAV）だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。



知っていると便利

- 再生範囲の設定の切り換えは、RPT ボタンでも操作できます。（※ ここだけ ⑥ 23 ページ）

CD
3

違う曲順で再生する

ランダムプレイ

曲やCDを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダムプレイする範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます（※ CD ② 25ページ）

2 RANDOM :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- ランダムプレイ設定がONになっている場合は、RANDOM :ONと表示されます。

3 ロータリーコマンドーを押す

ランダムプレイ設定がONになります

次の曲から、ランダムに再生されます。もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
CD / マルチCD : ディスクリピート
WMA / MP3 / AAC / WAV : フォルダーリピート



知っていると便利

- ランダムプレイのON / OFFの切り換えは、RDM/iPodボタンでも操作できます。（※ ここだけ ⑥ 23ページ）

CD
4

曲 / フォルダー / ディスクを探す

曲やフォルダー、ディスクのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます（スキャン再生）。聞きたい曲やフォルダー、ディスクを探すときに便利です。

1 スキャンプレイする範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます（※ CD ② 25ページ）

■ 聞きたい曲を探すとき
（トラックスキャン再生）

選んだ再生範囲内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- CD再生時は、ディスクリピートに切り換えます。
- WMA / MP3 / AAC / WAV再生時は、フォルダーリピートに切り換えます。

■ 聞きたいフォルダーを探すとき
（フォルダースキャン再生）

再生中のディスクにある全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- WMA / MP3 / AAC / WAV再生時に、ディスクリピートに切り換えます。

■ 聞きたいディスクを探すとき
（ディスクスキャン再生）

マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- ソースがマルチCDのときに、マルチCDリピートに切り換えます。

2 SCAN :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- スキャンプレイ設定がONになっている場合は、SCAN :ONと表示されます。

曲の再生を一時停止できます。

3 ロータリーコマンドを押す

スキャンプレイ設定がONになります

曲やフォルダー、ディスクのはじめの約10秒間が次々に再生されます。



メモ

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダー、ディスクが再生されたら、ロータリーコマンドを押す

スキャンプレイ設定がOFFになります



メモ

- ふだんの再生画面に戻っていったら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- スキャンプレイを始めた曲（フォルダー／ディスク）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD／マルチCD：
ディスクリピート
WMA／MP3／AAC／WAV：
フォルダーリピート

1 PAUSE :OFFにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ



メモ

- ポーズ設定がONになっている場合は、PAUSE :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドを押す

再生を一時停止します

もう一度押すと、再生を再開します。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

CD
6

音声を高音質化する

サウンドレトリバー

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。



サウンドレトリバーとは

- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1 SOUND RETRIEVERにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

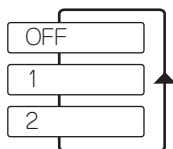
現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で設定が切り換わります



メモ

- サウンドレトリバーの効果は、1より2の方が大きくなります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っていると便利

- サウンドレトリバーの設定の切り換えは、S.Rtrv ボタンでも操作できます。(※ ここだけ 23ページ)

CD
7

CDのタイトルを入力する

CDのタイトルを入力して、本機に登録できます。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます。



ご注意

- 「CD TEXT」(※ はじめに 13ページ)を再生しているときや、タイトル入力機能のないマルチCDを組み合わせたときは、操作できません。

1 タイトル入力したいCDを再生する

2 TITLE INPUTにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押す

タイトル入力画面が表示されます

4 ロータリーコマンドーを回す

入力する文字を選ぶ

次の文字を選ぶ：右に回す

前の文字を選ぶ：左に回す

文字はアルファベット→数字→記号の順で切り換わります。

5 ロータリーコマンドーを押す

カーソルを右に移動できます

手順の4と5を繰り返してタイトルを入力します。

マルチCD（別売）の機能です。

再生しているCDの音質に簡単な補正をかけ、より聞きやすい音に調節できます。

COMPとDBEの2つの機能を使って、CDの音質を手軽に調節できます。



ご注意

- COMP（DBE）機能のないマルチCDを組み合わせたときは、NO COMPと表示され、操作できません。



COMPとは

- COMPは、「Compression（コンプレッション）」の略です。大きな音と小さな音の音量差（ダイナミックレンジ）を小さくします。



DBEとは

- DBEは、「Dynamic Bass Emphasis（ダイナミックバスエンファシス）」の略です。車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP/DBEにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



6 ロータリーコマンドーを長く押す

確定した文字列が表示されます



メモ

- スペースを残したままでも、ロータリーコマンドーを長く押して入力を確定できます。
- タイトル入力中（文字が点滅しているとき）に BAND/ESC ボタンを押すと、タイトル入力画面が解除されて、ふだんの再生画面に戻ります。（入力中のタイトルは登録されません。）

7 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



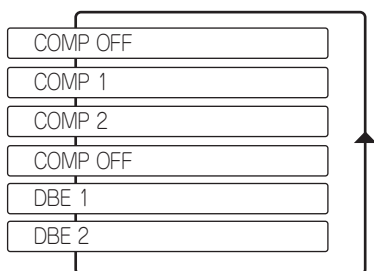
メモ

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- 内蔵CDには、CD48枚分のタイトルを登録できます。
- マルチCDには、ITS（※ CD ⑨ 30ページ）と合わせて、CD100枚分のタイトルを登録できます。
- 48枚（マルチCD接続時は、100枚）を超えたときは、一番古いCDのタイトルが消されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- CDを取り出しても、登録したタイトルは削除されません。

<つづき>

コンプレッション

次の順序で設定が切り換わります



メモ

- COMPとDBEの効果はいずれも、1より2の方が大きくなります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

CD

9

聞きたい曲を指定する

マルチCD (別売) の機能です。

聞きたい曲だけを再生するために、再生する曲をあらかじめ指定しておきます。



ITSとは

- ITSは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。指定した曲だけを再生できます。ITSの指定は、ITS解除を行うまで有効です。

1 ロータリーコマンダーを上下に操作する

指定したい曲の入ったCDを再生する
(18 ここだけで 2 18ページ)

2 ITS MEMORYにする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



4 ロータリーコマンダーを押す

曲の番号が点滅します

5 ロータリーコマンダーを回す

指定したい曲を選びます

次の曲にする：右に回す
前の曲にする：左に回す

6 ロータリーコマンドを押す

MEMORY が点滅します

7 ロータリーコマンドを回すMEMORY と DELETE が切り換わり
ます**8** MEMORY にしてロータリー
コマンドを押す

選んだ曲が指定されます

MEMORY COMPLETE と 2 秒間表示され、
指定が完了したことを知らせます。**9** BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 曲の指定は CD ごとに行われます。CD を入れ換えても、曲の指定は解除されません。
- CD 1 枚につき、99 曲まで指定できます。(「CDX-P1250」、「CDX-P650」以前に発売されたマルチ CD プレーヤーでは、指定できる曲は 24 曲目までになります。)
- ITS は、タイトル入力 (※ CD 7 28 ページ) と合わせて、CD 100 枚分の指定ができます。
- 100 枚を超えたときは、一番古い指定内容が解除されて、新しい CD の曲が指定されます。

マルチ CD (別売) の機能です。

ITS 指定 (※ CD 9 30 ページ) で指定した曲だけを再生できます。

1 ITS 再生する範囲を
選んでおく

ITS 再生は、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます (※ CD 2 25 ページ)

2 ITS PLAY :OFF にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ



メモ

- ITS 再生が ON になっている場合は、ITS PLAY :ON と表示されます。

3 ロータリーコマンドを押す

ITS プレイが ON になります



メモ

- もう一度押すと、OFF になります。
- ITS 指定されていない場合は、ON にできません。ITS EMPTY と表示されます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 手順 1 で選んだ再生範囲に、指定した曲がない場合は、ITS EMPTY が 2 秒間表示され、ITS プレイは始まりません。

曲の指定を1曲ずつ解除する

ITS解除

マルチCD（別売）の機能です。

ITS指定（ CD ⑨ 30ページ）で指定した曲を1曲ずつ解除できます。

1 ITSプレイをONにする

（ CD ⑩ 31ページ）

2 ITS MEMORYにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押す

曲の番号が点滅します

4 ロータリーコマンドーを回す

指定を解除したい曲を選びます

次の曲にする：右に回す

前の曲にする：左に回す

5 ロータリーコマンドーを押す

MEMORY が点滅します

6 ロータリーコマンドーを回す

MEMORY と DELETE が切り換わります

7 DELETEにしてロータリーコマンドーを押す

再生していた曲の指定が解除され、次に指定されている曲が再生されます

8 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 現在の再生範囲に、ITS指定された曲がなくなった場合は、ITS EMPTYが2秒間表示され、ITS再生がOFFになります。

マルチ CD (別売) の機能です。

ITS 指定 ( **CD 9** 30 ページ) で指定した曲を CD ごとに解除できます。

1 ITS プレイを OFF にする

( **CD 10** 31 ページ)

2 ITS MEMORY にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押す

曲の番号が点滅します



メモ

● 曲の番号は特に指定する必要はありません。

4 ロータリーコマンドーを押す

MEMORY が点滅します

5 ロータリーコマンドーを回す

MEMORY と DELETE が切り換わります

6 DELETE にしてロータリーコマンドーを押す

再生していた CD の指定が解除されます

MEMORY DELETE と 2 秒間表示され、指定が解除されたことを知らせます。

7 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

タイトルやアーティスト名を表示する

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示できます。また、隠れている文字をスクロール表示することもできます。

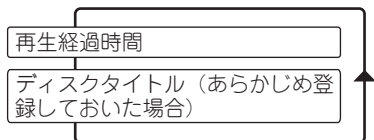


ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 DISP ボタンを押す

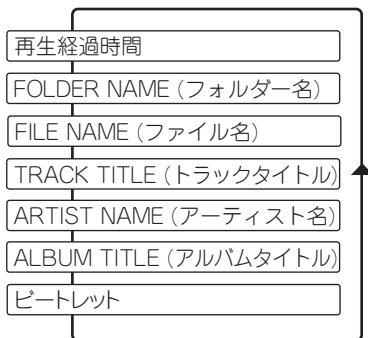
押すごとに、次の順序で切り換わります



CD-ROM



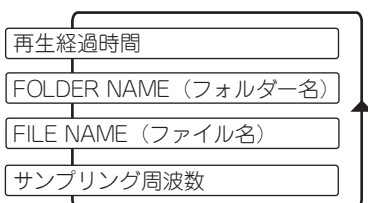
(WMA/MP3/AAC再生時)



CD-ROM



(WAV再生時)



知っている则便利

- 隠れている文字を表示するには、DISP ボタンを長く押します。



メモ

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、NO DISC TITLEなどと表示されます。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルや AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

WMA／MP3／AAC／WAV再生中に、ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、聞きたいファイルやフォルダーを選べます。

1 内蔵CD／マルチCDにする

SRCを押して選びます
( ここだけで ① 16 ページ)

2 LIST ボタンを押す

フォルダー／ファイルリストが表示されます

3 ロータリーコマンドを回す

フォルダー名やファイル名が切り換わります

次のフォルダー（ファイル）を選ぶとき：
右に回す

前のフォルダー（ファイル）を選ぶとき：
左に回す

4 フォルダーが表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだフォルダー内のフォルダーやファイルが表示されます

知っているとも便利

- フォルダーが表示されているときにロータリーコマンドを長く押すと、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。

5 ファイルが表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます

知っているとも便利

- 再生は、ファイルを選択しているときにロータリーコマンドを右に操作することでも可能です。
- 前のリスト(1つ上の階層のフォルダー)に戻るには、BACK ボタンを押します。この操作は、ロータリーコマンドを左に操作することでも可能です。
- 最上位の階層に戻るには、BACK ボタンを長く押します。

メモ

- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたはLIST ボタンを押します。
- フォルダー／ファイルリストは、必ずROOT から表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、NO FILES と表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンドを押しても再生しません。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

CD
15曲名を見て聞きたい
曲を探す

トラックリスト

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧（トラックリスト）を見ながら、聞きたい曲を選べます。

1

内蔵CDにする

SRCを操作して選びます

(☞ ここだけで ① 16 ページ)

2

LIST ボタンを押す

トラックリストが表示されます

- マルチCDの場合、ディスクリスト (☞ CD ⑯) が表示されます。ディスクリストの手順3~4を行って、「CD TEXT」のトラックリストを表示します。

3

ロータリーコマンドを回す

CDのタイトルが切り換わります

次の曲を選ぶとき：右に回す
前の曲を選ぶとき：左に回す

4

聞きたい曲が表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだ曲が再生されます



メモ

- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたはLIST ボタンを押します。
- 「CD TEXT」に、曲名が収録されていないときは、NO TRACK TITLE と表示されます。
- トラックリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

CD
16

タイトルを見て聞きたいCDを探す

マルチCD (別売) の機能です。

CDのタイトル一覧（ディスクリスト）を見ながら、聞きたいCDを選べます。

1

マルチCDにする

SRCを操作して選びます

(☞ ここだけで ① 16 ページ)

2

LIST ボタンを押す

ディスクリストが表示されます

3

ロータリーコマンドを回す

CDのタイトルが切り換わります

次のCDを選ぶとき：右に回す
前のCDを選ぶとき：左に回す

4

聞きたいCDが表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだCDが再生されます



メモ

- 「CD TEXT」の再生中にロータリーコマンドを押すと、トラックリスト (☞ CD ⑯) を表示できます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- ふだんの再生画面には、LIST ボタンを押して戻ることができます。
- マガジンにCDがセットされていないときは、NO DISCと表示されます。また、タイトルが入力されていないCDでは、NO DISC TITLEと表示されます。
- ディスクリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

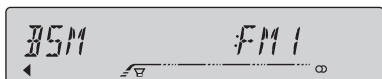
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

ラジオ
1

ファンクションメニューの切り換えかた

「複数の放送局を自動的に登録する」機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

BSMに切り換わります。



メモ

- ファンクションメニューに戻るときは、BACKボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACKボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

ラジオ
2

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

受信状態の良い放送局を自動で探して登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。



BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。

1 BAND/ESC ボタンを押す

登録するバンドを選ぶ

2 BSMにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

BSMによる登録が始まります

登録が完了するとプリセットチャンネルリストに切り換わり、プリセットメモリーの1 (PCH1) に登録された放送局を受信します。



メモ

- 登録処理中にロータリーコマンドを押すと、処理を途中でやめることができます。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。



知っている则便利

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。

ラジオ
3

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます（プリセットメモリー）。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 BAND/ESC ボタンを押す

登録するバンドを選ぶ

2 ロータリーコマンドーを左右に操作する

登録する放送局を選ぶ

3 LIST ボタンを押す

プリセットチャンネルリストが表示されます

4 ロータリーコマンドーを回す

登録先のプリセット番号を選ぶ

プリセット番号はPCH1～PCH6の中から選べます。

5 ロータリーコマンドーを長く押す

放送局が登録されます

登録動作中にプリセット番号が点滅します。

登録が完了するとプリセット番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

ラジオ
4

登録した放送局を呼び出す

プリセットチャンネルリスト

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局を、プリセットチャンネルリストの中から選んで受信できます。

1 BAND/ESC ボタンを押す

バンドを選ぶ

2 LIST ボタンを押す

プリセットチャンネルリストが表示されます。

3 ロータリーコマンドーを回す

放送局が切り換わります

次のプリセットチャンネルを選ぶとき：
右に回す

前のプリセットチャンネルを選ぶとき：
左に回す

4 聞きたいプリセットチャンネルが表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す

選んだプリセットチャンネルの放送局を受信します



メモ

- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたはLIST ボタンを押します。
- プリセットチャンネルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

USB
1

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

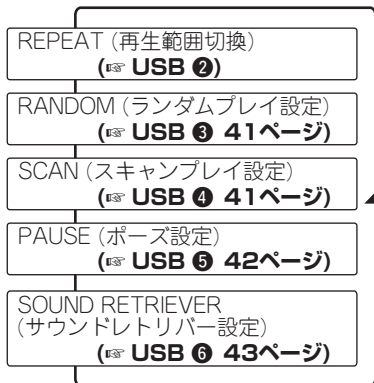
メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります



メモ

- ファンクションメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

USB
2

繰り返し再生する

再生範囲切換

曲を繰り返し(リピート)再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やフォルダーなどから選べます。

1 REPEATにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドを押す

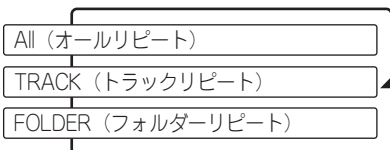
現在の再生範囲が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドを回す

次の順序で再生範囲が切り換わります



オールリピート：

すべての曲を繰り返し再生します。

トラックリピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：

今聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

4 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります




知っていると便利

- 再生範囲の設定の切り換えは、RPT ボタンでも操作できます。(※ ここだけ 6 23 ページ)

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつとも違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダムプレイする範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます（ USB ②）

2 RANDOM :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- ランダムプレイ設定がONになっている場合は、RANDOM :ONと表示されます。

3 ロータリーコマンドーを押す

ランダムプレイ設定がONになります
次の曲から、ランダムに再生されます。
もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります




メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。




知っていると便利

- ランダムプレイのON / OFF の切り換えは、RDM/iPod ボタンでも操作できます。（ **ここだけ** ⑥ 23ページ）

曲のはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます（スキャン再生）。聞きたい曲を探すときに便利です。

1 スキャンプレイする範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます（ USB ②）

■ 聞いているフォルダー内で聞きたい曲を探すとき

再生中のフォルダーのすべての曲を、約10秒ずつ再生します。再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。

■ USB 機器全体から聞きたい曲を探すとき

USB 機器に収録されているすべての曲を、約10秒ずつ再生します。再生範囲をオールリピートに切り換えます。

2 SCAN :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- スキャンプレイ設定がONになっている場合はSCAN :ONと表示されます。

3 ロータリーコマンドーを押す

スキャンプレイ設定がONになります
曲のはじめの約10秒間が次々に再生されます。



メモ

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

次のページへ続く

<つづき>

スキャンプレイ

4 聞きたい曲が再生されたら、ロータリーコマンドを押す

スキャンプレイ設定がOFFになります



メモ

- ふだんの再生画面に戻ったら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- スキャンプレイを始めた曲まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

USB
5

再生を一時停止する

ポーズ

曲の再生を一時停止できます。

1 PAUSE :OFFにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ



メモ

- ポーズ設定がONになっている場合は、PAUSE :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドを押す

再生を一時停止します

もう一度押すと、再生を再開します。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。



サウンドレトリバーとは

- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1 SOUND RETRIEVER にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

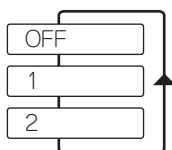
現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で設定が切り換わります



メモ

- サウンドレトリバーの効果は、1より2の方が大きくなります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っていると便利

- サウンドレトリバーの設定の切り換えは、S.Rtrv ボタンでも操作できます。(※ ここだけ 23 ページ)

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示できます。また、隠れている文字をスクロール表示することもできます。



ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

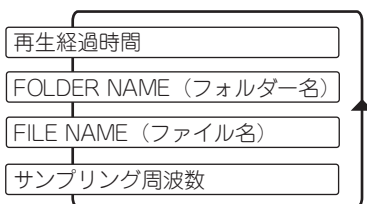
1 DISP ボタンを押す

押すごとに、次の順序で切り換わります

WMA/MP3/AAC 再生時



WAV 再生時



知っていると便利

- 隠れている文字を表示するには、DISP ボタンを長く押しします。



メモ

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、NO FOLDER NAME などと表示されます。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、聞きたいファイルやフォルダーを選べます。

1 USBにする

SRC ボタンを押して選びます
(🔊) **ここだけで ① 16 ページ**

2 LIST ボタンを押す

フォルダー／ファイルリストが表示されます

3 ロータリーコマンドを回す

フォルダー名やファイル名が切り換わります

次のフォルダー／ファイルを選ぶとき：
右に回す

前のフォルダー／ファイルを選ぶとき：
左に回す

4 フォルダーが表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだフォルダー内のフォルダーやファイルが表示されます

5 ファイルが表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます



知っているとお便利

- 再生は、ファイルを選択しているときにロータリーコマンドを右に操作することでも可能です。
- 前のリスト(1つ上の階層のフォルダー)に戻るには、BACK ボタンを押します。この操作は、ロータリーコマンドを左に操作することでも可能です。
- 最上位の階層に戻るには、BACK ボタンを長く押しします。



メモ

- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたはLIST ボタンを押します。
- フォルダー／ファイルリストは、必ずROOT から表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、NO FILES と表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンドを押しても再生しません。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

聞きたい曲を探す

ジャンル、アーティスト、アルバムなどのリストから、お好みのアーティストやアルバムなどを選んで再生できます。



ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が対応していない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。
- iPod アダプターを使用している場合、「iPodcast」や「オーディオブック」は選べません。

1

LIST ボタンを押す

ブラウズモードになります

2

カテゴリーまたはリストを選ぶ

ロータリーコマンドを回して選びたいカテゴリーを表示し、ロータリーコマンドを押す

PLAYLISTS (プレイリスト)、ARTISTS (アーティスト)、ALBUMS (アルバム)、SONGS (曲)、PODCASTS (ポッドキャスト)、COMPOSERS (作曲家)、GENRES (ジャンル)、AUDIOBOOKS (オーディオブック)の中から選べます。

3

カテゴリーを絞り込む

手順2の操作を繰り返して、カテゴリーを絞り込むことができます



知っている则便利

- リストを表示しているときに、ロータリーコマンドを長く押すと、そのリスト内の曲を最初からすべて再生できます。ロータリーコマンドを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドを上下に操作して、カテゴリーまたはリストを切り換えることもできます。
- ロータリーコマンドを右に操作することでも、カテゴリーを絞り込むことができます。
- 1つ前のカテゴリーに戻るには、ロータリーコマンドを左に操作します。

4

お好みの曲を選ぶ

ロータリーコマンドを回してお好みの曲を表示し、ロータリーコマンドを押す

選んだ曲の再生が始まります。



メモ

- 前のリスト(1つ上の階層のフォルダー)に戻るには、BACK ボタンを押します。ロータリーコマンドを左に操作することでも可能です。
- 最上位の階層に戻るには、BACK ボタンを長く押しします。
- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたはLIST ボタンを押します。
- カテゴリー/リストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。



ご注意

- 本機に対応していない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

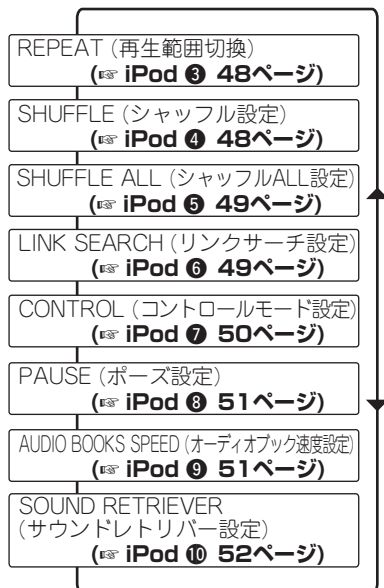
2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります

■ USB で 接続しているとき



■ iPod アダプターで接続しているとき



ご注意

- iPod アダプター (例:「CD-IB10II」) と組み合わせて iPod を接続している場合は、「IPOD」ソースになります。「IPOD」ソースでは、「Podcast」や「オーディオブック」に関する機能は操作できません。



メモ

- CONTROL MODE は、iPod nano (第2世代) を接続しているときだけ操作できます。
- CONTROL MODE を IPOD に設定した場合、CONTROL MODE と SOUND RETRIEVER 以外には切り換わりません。
- ファンクションメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

iPod
3

繰り返し再生する

リピート再生

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲、今聞いているリストから選べます。



ご注意

- 1曲リピートを選ぶと、ロータリーコマンドナーを左右に操作して曲を選ぶことはできなくなります。

1

REPEATにする

ロータリーコマンドナーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドナーを押す

現在の再生範囲が表示されます

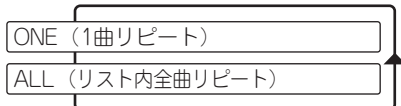
画面例



3

ロータリーコマンドナーを回す

次の順序で再生範囲が切り換わります



1 曲リピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

リスト内全曲リピート：

今聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。

4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っているとお便利

- 再生範囲の設定の切り換えは、RPT ボタンでも操作できます。(※ ここだけ ⑥ 23ページ)

iPod
4

違う曲順で再生する

シャッフル再生

曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1

SHUFFLEにする

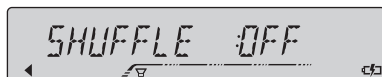
ロータリーコマンドナーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドナーを押す

現在の設定内容が表示されます

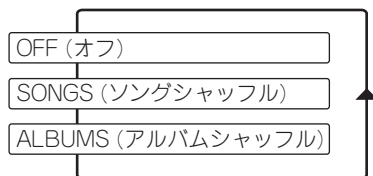
画面例



3

ロータリーコマンドナーを回す

次の順序でシャッフル設定が切り換わります



4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っているとお便利

- iPod を iPod アダプターで接続した場合、シャッフルの切り換えは、RDM/iPod ボタンでも操作できます。(※ ここだけ ⑥ 23ページ)

iPod
5

すべての曲をシャッフルしてから再生する

全曲シャッフル

USB接続時のみ操作できる機能です。

iPodのミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同（ランダム）に再生できます。

1 SHUFFLE ALL にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

全曲シャッフルが始まり、ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 全曲シャッフルを解除するには、SHUFFLEでOFFを選びます。(※ iPod 4)



知っていると便利

- iPodをUSB接続した場合、全曲シャッフルのON/OFFの切り換えは、RDM/iPodボタンでも操作できます。(※ ここだけ 6 23ページ)

iPod
6

アルバムリストにショートカットする

リンクサーチ

USB接続時のみ操作できる機能です。

再生中のアーティストのアルバムリストを直接表示できます。アーティストの他のアルバムや曲を聞きたくなったときに便利です。



ご注意

- iPodに保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。

1 LINK SEARCH にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

再生中のアーティストのアルバムリストが表示されます



3 アルバムまたは曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ
(※ iPod 1 46ページ)



ご注意

- 本機に対応していない文字がiPodに記録されている場合、その文字は表示されません。

iPod nano(第2世代)のUSB接続時のみ操作できる機能です。

接続したiPodから本機のiPod機能进行操作できます。



ご注意

- iPodから本機を操作(コントロールモードをIPODに設定)して再生した場合、車のエンジンスイッチをOFFにしても、iPodの再生は停止されません。iPodを操作して、再生を停止してください。



知っていると便利

- iPodをUSB接続した場合、コントロールモードの切り換えは、RDM/iPodボタンでも操作できます。(※ **ここだけ ⑥ 23ページ**)
- コントロールモードをIPODに設定していても、本機のロータリーコマンドを左右に操作することで曲を選ぶことができます。

1

CONTROL :AUDIOにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ



メモ

- コントロールモードがIPODになっている場合は、CONTROL :IPODと表示されます。

2

ロータリーコマンドを押す

押すごとにIPODとAUDIOが切り換わります

IPOD :

iPodから本機のiPod機能进行操作します。

AUDIO :

本機で本機のiPod機能进行操作します。

3

BAND/ESCボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- ふだんの再生画面では、再生経過時間やタイトルは表示されません。
- コントロールモードをIPODに設定しても、音量は本機からしか調節できません。
- コントロールモードをIPODに設定した場合、ファンクションメニューの機能はCONTROL MODEとSOUND RETRIEVER以外には切り換わりません。
- コントロールモードをIPODに設定した場合、ブラウザモード (※ **iPod ① 46ページ**) には切り換わりません。

再生を一時停止する

ポーズ

曲の再生を一時停止できます。

1 PAUSE :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- ポーズ設定がONになっている場合は、PAUSE :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドーを押す

再生を一時停止します

もう一度押すと、再生を再開します。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

オーディオブックの再生速度を変更する

USB接続時のみ操作できる機能です。

オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 AUDIO BOOKS SPEEDにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

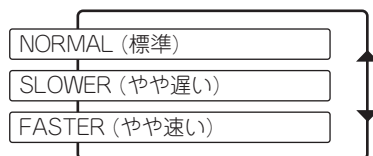
現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で設定が切り換わります



4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

iPod
10

音声を高音質化する

サウンドレトリバー

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。



サウンドレトリバーとは

- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声が削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1 SOUND RETRIEVER にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

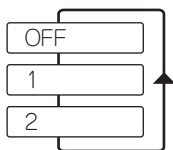
現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で設定が切り換わります



メモ

- サウンドレトリバーの効果は、1より2の方が大きくなります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っているとは便利

- iPodをUSB接続した場合、サウンドレトリバーの設定の切り換えは、S.Rtrv ボタンでも操作できます。(※ ここだけ ⑥ 23ページ)

iPod
11

タイトルやアーティスト名を表示する

iPodに記録されている曲名やアーティスト名、アルバムタイトルなどを表示できます。また、隠れている文字をスクロール表示することもできます。

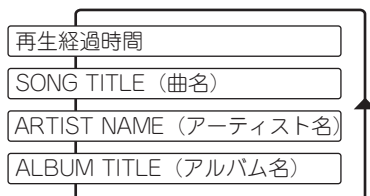


ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 DISP ボタンを押す

押すごとに、次の順序で切り換わります



知っているとは便利

- 隠れている文字を表示するには、DISP ボタンを長く押します。



メモ

- 本機が対応していない文字がiPodに記録されている場合、その文字は表示されません。

BT Audio について

本機でのBluetoothアダプター（例：「CD-BTB10」）の基本的な操作方法を説明しています。Bluetoothアダプターの機能について、詳しくは組み合わせたBluetoothアダプターの取扱説明書をご覧ください。

画面例



デバイス名

BT Audio
1

BT Audioの ふだんの操作

Bluetooth対応機器を本機のソースとして使用できます。



ご注意

- Bluetooth対応機器を本機のBT AUDIOソースとして使用する場合、以下の設定を行う必要があります。
 - － BT AUDIOソースをONにする（※ 初期設定 ⑥ 88 ページ）
 - － パスコードを編集する（※ 初期設定 ⑦ 88 ページ）
 - － Bluetooth接続する（※ BT Audio ②）

1

ソースをBT AUDIOにする

SRC ボタンを押して選ぶ

（※ ここだけで ① 16 ページ）

2

ロータリーコマンダーを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する

前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける

早戻し：左に操作し続ける

3

BT Audioの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



メモ

- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、早送り／早戻し中に音声が出ない場合があります。

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドーを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して **FUNCTION** を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で機能が切り換わります

■BT Audio が接続されていないとき

CONNECT OPEN(接続待ち受け)→DEVICE INFO(デバイス情報)→CONNECT OPENに戻る

■BT Audio が接続されているとき

DISCONNECT AUDIO(接続解除設定)→PLAY(再生)→STOP(停止)→PAUSE(ポーズ設定)→DEVICE INFO(デバイス情報)→DISCONNECT AUDIOに戻る

■BT Audio が音声のみ接続されているとき

DISCONNECT AUDIO(接続解除設定)→DEVICE INFO(デバイス情報)→DISCONNECT AUDIOに戻る

4 選んだ機能进行操作する

CONNECTION OPEN (接続待ち受け)

ロータリーコマンドーを押すと、Bluetooth 対応機器の接続待ち受け状態になります。Bluetooth 対応機器を操作して、本システムと接続します。

DISCONNECT AUDIO (接続解除設定)

ロータリーコマンドーを押すと、Bluetooth 接続を解除します。

PLAY (再生)

ロータリーコマンドーを押すと、Bluetooth 対応機器の再生を始めます。

STOP (停止)

ロータリーコマンドーを押すと、Bluetooth 対応機器の再生を停止します。

PAUSE (ポーズ設定)

ロータリーコマンドーを押すごとに、ON / OFF します。

DEVICE INFO (デバイス情報)

(BT Audio 56 ページ)



メモ

- BT AUDIO が低いレベルで接続されている場合、PLAY、STOP、PAUSE には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

本システムのデバイス 情報を確認する

1 DEVICE INFO にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の選択内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

見たい情報の名称を選びます

DEVICE NAME(デバイス名)/BD ADDRESS
(BDアドレス)から選ぶことができます。

4 ロータリーコマンドーを押す

選んだデバイス情報が表示されます

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

BT Telephone について

本機でのBluetoothアダプター（例：「CD-BTB10」）の基本的な操作方法を説明しています。Bluetoothアダプターの機能について、詳しくは組み合わせたBluetoothアダプターの取扱説明書をご覧ください。

画面例



携帯電話

1

電話の待ち受けソースにする

TELEPHONE

電話の待ち受けソース（TELEPHONE）では、本システムに接続したBluetooth対応の携帯電話のさまざまな設定を行うことができます。



ご注意

- 本機でBluetooth対応の携帯電話を使用して、ハンズフリー通話をするには、Bluetooth接続を行う必要があります。（※ 携帯電話 ⑥ 63 ページ）



ソースを TELEPHONE にする

SRC ボタンを押して選ぶ



メモ

- 組み合わせるBluetooth対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

音声操作で電話をかける

音声認識機能のある携帯電話を接続している場合、音声認識機能で電話をかけることができます。音声操作について、詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- 音声認識機能のない携帯電話では、NO VOICE DIALと表示されて、操作できません。
- 音声認識機能のある携帯電話でも、HFP接続できていない場合は、操作できません。

1 BAND/ESC ボタンを長く押す

VOICE DIAL ONと表示されます

2 電話をかけたい相手の名前を発話する

発話した名前の相手に発信します

かかってきた電話に出る

どのソースを聞いているときでも、本機の電源がOFFのときでも、かかってきた電話に出ることができます。

かかってきた電話に出る

1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンダーを押す

電話がつながり、通話できます



知っていると便利

- ロータリーコマンダーを上にも操作することでも、電話に出ることができます。

2 通話中に、ロータリーコマンダーを回す

通話中の相手声の音量（受話音量）を調節する

3 ロータリーコマンダーを下にも操作する

電話が切れます

次のページへ続く

<つづき>

通話中にかかってきた別の電話に出る（割込通話）



ご注意

- 割込通話機能の利用には、携帯電話会社との契約が必要です。
- 割込通話中は、通話の相手を切り換えることはできますが、通話を個別に切ることはできません。



1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、通話の相手が切り換わります



知っていると便利

- ロータリーコマンドを上にも操作することも、通話の相手が切り換えられます。



2 ロータリーコマンドを下に操作する

通話中の相手だけでなく、保留にしている相手の電話も切れます

携帯電話

4

かかってきた電話を切る（着信拒否）

電話に出られないときは、着信を拒否できます。また、通話中にかかってきた別の電話の着信を拒否することもできます。

かかってきた電話を切る



1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンドを下に操作する

かかってきた電話の着信を拒否します



知っていると便利

- 手動で着信拒否をした場合、電話番号が不在着信履歴に残ります。(※ 携帯電話 ⑩ 66 ページ)
- すべての着信を自動で拒否することもできます(※ 携帯電話 ⑩ 69 ページ)。この場合、電話番号は不在着信履歴には残りません。

通話中にかかってきた別の電話を切る



ご注意

- 通話中にかかってきた電話は、手動で着信拒否をした場合でも、電話番号は不在着信履歴に残りません。



1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンドを下に操作する

通話中に、かかってきた電話の着信を拒否します

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドーを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して **FUNCTION** を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で機能が切り換わります

■携帯電話が接続されていないとき

SEARCH PHONE (BT 機器接続設定)

(☎ 携帯電話 ⑥ 63 ページ)



CONNECTION OPEN (接続待ち受け)

(☎ 携帯電話 ⑥ 63 ページ)



CONNECT PHONE (電話機接続設定)

(☎ 携帯電話 ⑨ 65 ページ)



DELET PHONE (電話機登録削除)

(☎ 携帯電話 ⑩ 66 ページ)



REFUSE CALLS (着信拒否設定)

(☎ 携帯電話 ⑬ 69 ページ)



AUTO ANSWER (自動着信設定)

(☎ 携帯電話 ⑰ 69 ページ)



RING TONE (着信BEEP音設定)

(☎ 携帯電話 ⑮ 68 ページ)



AUTO CONNECT (自動接続設定)

(☎ 携帯電話 ⑨ 65 ページ)



ECHO CANCEL (エコーキャンセル設定)

(☎ 携帯電話 ⑭ 68 ページ)



DEVICE INFO (デバイス情報)

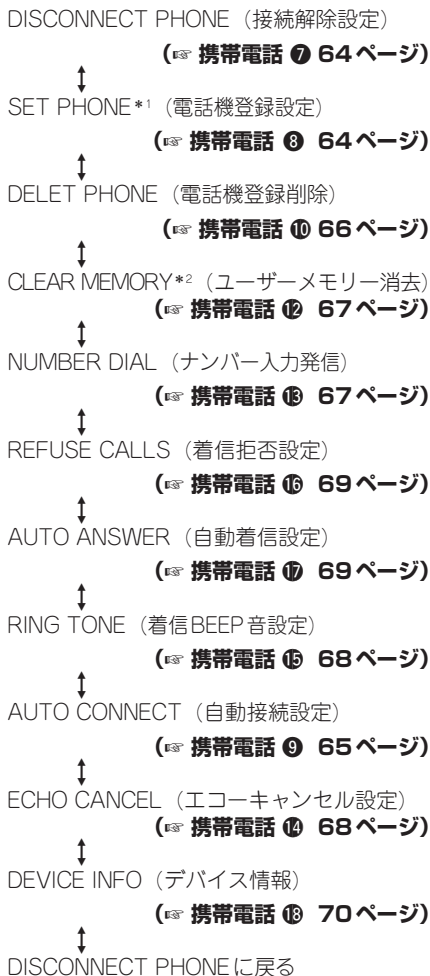
(☎ 携帯電話 ⑱ 70 ページ)



SEARCH PHONEに戻る

次のページへ続く

■携帯電話が接続されているとき



メモ

- ファンクションメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- 電話の待ち受け画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。
- 30秒間何も操作しないと、自動的に電話の待ち受け画面に戻ります。ただし、次の機能の場合は自動では戻りません。
 - ・ SEARCH PHONE
 - ・ CONNECTION OPEN
 - ・ CONNECT PHONE
 - ・ DISCONNECT PHONE
 - ・ CLEAR MEMORY
 - ・ NUMBER DIAL

*1 接続中の電話機が登録されているときは、SET PHONEには切り換わりません。

*2 接続中の電話機が登録されていないときは、CLEAR MEMORYには切り換わりません。

接続可能な携帯電話を検索して接続する

1 SEARCH PHONE にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

接続可能な携帯電話を検索する

接続可能な携帯電話が見つかったと、デバイス名（機器名称）が表示されます。接続可能な携帯電話が複数台見つかった場合は、ロータリーコマンドーを回して、接続する携帯電話を選びます。



知っていると便利

- ロータリーコマンドーを長く押すと、携帯電話のデバイス名（機器名称）とBDアドレスを切り換えることができます。

3 ロータリーコマンドーを押す

携帯電話を Bluetooth 接続する

接続を完了するには、携帯電話で本システムのデバイス名（Pioneer BT unit）を確認し、パスコードを入力します。接続が完了すると、CONNECTEDと表示されます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 接続可能な携帯電話が見つからなかった場合は、NOT FOUNDと表示されます。
- 携帯電話のデバイス名が取得できなかった場合は、NAME NOT FOUNDと表示されます。
- パスコードの初期設定は、「0000」です。パスコードは変更できます。（※ 初期設定 ⑦ 88 ページ）

携帯電話から接続する



ご注意

- 携帯電話によって操作は異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。
- パスコードの初期設定は、「0000」です。パスコードは変更できます。（※ 初期設定 ⑦ 88 ページ）

1 CONNECTION OPEN にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 携帯電話を操作して、本システムと Bluetooth 接続する

携帯電話が Bluetooth 接続されます

携帯電話からの接続を待っている間、ALWAYS WAITINGと表示されます。接続が完了すると、CONNECTEDと表示されます。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

携帯電話

7

Bluetooth 接続を解除する

1 DISCONNECT PHONE にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

本システムとの Bluetooth 接続が解除されます

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

携帯電話

8

携帯電話を登録する

1 SET PHONE にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを回す

登録先を選びます

P1 (ユーザー 1)、P2 (ユーザー 2)、P3 (ユーザー 3)、G1 (ゲスト 1)、G2 (ゲスト 2) の中から選べます。

3 ロータリーコマンドーを押す

携帯電話が登録されます

登録が完了すると、REG COMPLETED と表示されます。



ご注意

- すでに登録されている携帯電話は、別の設定に登録できません。



知っている则便利

- ロータリーコマンドーを長く押すと、選択した携帯電話のデバイス名(機器名称)とBDアドレスを切り換えることができます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



ご注意

- ゲストとして登録された携帯電話では、一部、操作できない機能があります。

登録されている携帯電話を接続する

手動で接続する

1 CONNECT PHONE にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを回す

接続したい携帯電話を選びます

P1 (ユーザー 1)、P2 (ユーザー 2)、P3 (ユーザー 3)、G1 (ゲスト 1)、G2 (ゲスト 2) の中から選べます。

 知っていると便利

- ロータリーコマンドーを長く押すと、選択した携帯電話のデバイス名 (機器名称) と BD アドレスを切り換えることができます。

3 ロータリーコマンドーを押す

選んだ携帯電話が Bluetooth 接続されます

接続が完了すると、CONNECTED と表示されます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

自動で接続する

1 AUTO CONNECT :OFF にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

 メモ

- 自動接続設定が ON になっている場合は AUTO CONNECT :ON と表示されます。

2 ロータリーコマンドーを押す

自動接続設定が ON になります

本システムに登録されている携帯電話と自動的に Bluetooth 接続を開始する待機状態になります。

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

 メモ

- 登録されている携帯電話でも、機種によっては自動で接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。

携帯電話

10

携帯電話の登録を削除する

1 DELET PHONE にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを回す

登録を削除したい携帯電話を選ぶ

P1 (ユーザー 1)、P2 (ユーザー 2)、P3 (ユーザー 3)、G1 (ゲスト 1)、G2 (ゲスト 2) の中から選べます。



知っていると便利

- ロータリーコマンドーを長く押しと、携帯電話のデバイス名 (機器名称) と BD アドレスを切り換えることができます。

3 ロータリーコマンドーを押す

確認画面 (DELETE OK? :NO) が表示されます

4 ロータリーコマンドーを回して YES を選び、ロータリーコマンドーを押す

選んだ携帯電話の登録が削除されます
削除が完了すると、DELETED と表示されます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

携帯電話

11

履歴から電話をかける

不在着信履歴、発信履歴、着信履歴に記録されている電話番号へ電話をかけることができます。

1 LIST ボタンを押す

履歴の種類の選択画面に切り換わります

2 ロータリーコマンドーを回す

次の順序で履歴の種類が切り換わります

MISSED CALLS (不在着信履歴) → DIALED CALLS (発信履歴) → RECEIVED CALLS (着信履歴) → MISSED CALLS に戻る

3 目的の履歴を選んで、ロータリーコマンドーを押す

履歴データが表示されます

4 ロータリーコマンドーを回す

目的の履歴データを選ぶ

次のデータを選ぶとき：右に回す
前のデータを選ぶとき：左に回す

5 ロータリーコマンドーを押す

選んだ履歴の電話番号が表示されます

6 ロータリーコマンドーを押す

選んだ履歴の電話番号に電話がかかります

通話を終了するときは、ロータリーコマンドーを下に操作します。



メモ

- 履歴の選択画面に戻るには、BACK ボタンを押します。ロータリーコマンドーを左に操作することでも可能です。
- 電話番号を表示しているときに履歴の選択画面に戻るには、BACK ボタンを長く押しします。
- 電話の待ち受け画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたは LIST ボタンを押します。
- 履歴の表示は、30 秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

データを消去する

1 CLEAR MEMORY にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを回す

消去したい履歴を選ぶ

MISSED CALLS(不在着信履歴)⇨ALL(すべて)⇨RECEIVED CALLS(着信履歴)⇨DIALED CALLS(発信履歴)⇨MISSED CALLSに戻る

3 ロータリーコマンドーを押す

確認画面(CLEAR MEMORY :NO)が表示されます

4 ロータリーコマンドーを回してYESを選んで、ロータリーコマンドーを押す

選んだ履歴が消去されます

消去が完了すると、CLEAREDと表示されます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



メモ

- ALL を選ぶと、不在着信履歴、発信履歴、着信履歴の全データを消去します。

電話番号を入力して電話をかける

1 NUMBER DIAL にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

電話番号の入力画面が表示されます

3 ロータリーコマンドーを回す

入力する数字を選ぶ

次の数字を選ぶ：右に回す

前の数字を選ぶ：左に回す

4 ロータリーコマンドーを押す

カーソルを右に移動できます



メモ

- 最大で24桁入力できます。

5 ロータリーコマンドーを長く押す

入力した電話番号が確定し、電話がかかります

通話を終了するときは、ロータリーコマンドーを下に操作します。

携帯電話

14

通話中のノイズや エコーを軽減する

1 ECHO CANCEL :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- エコーキャンセル設定がONになっている場合は、ECHO CANCEL :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドーを押す

エコーキャンセルがONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

携帯電話

15

着信音をON/ OFFする

1 RING TONE :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- 着信BEEP音設定がONになっている場合は、RING TONE :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドーを押す

着信BEEP音がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

着信拒否を設定する

1 REFUSE CALLS :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- 着信拒否設定がONになっている場合は、REFUSE CALLS :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドーを押す

着信拒否設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

自動着信を設定する

1 AUTO ANSWER :OFFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- 自動着信設定がONになっている場合は、AUTO ANSWER :ONと表示されます。

2 ロータリーコマンドーを押す

自動着信設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

本システムのデバイス情報を確認する

1 DEVICE INFO にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の選択内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

見たい情報の名称を選びます

DEVICE NAME(デバイス名)/BD ADDRESS
(BD アドレス)から選ぶことができます。

4 ロータリーコマンドーを押す

選んだデバイス情報が表示されます

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

テレビについて

本機でのテレビの基本的な操作方法を説明しています。テレビの機能について、詳しくは組み合わせたテレビの取扱説明書をご覧ください。

画面例



テレビ
1

テレビのふだんの操作

ここだけの操作で、テレビを見ることがができます。

1

ソースをテレビにする

SRC ボタンを押して選ぶ
(15 ここだけで **1** 16 ページ)

2

BAND ボタンを押す

バンドが切り換わります

3

ロータリーコマンダーを上下に操作する

プリセットチャンネル順に受信する

次のプリセットチャンネルを選ぶとき：
上に操作する

前のプリセットチャンネルを選ぶとき：
下に操作する

4

ロータリーコマンダーを左右に操作する

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ：右に操作する

低い周波数の放送局を選ぶ：左に操作する

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ：
右に長く操作して離す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ：
左に長く操作して離す

5

テレビの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドーを押す
メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドーを押す

3 ロータリーコマンドーを回す

BSSM(BSSM 設定)とMPX(マルチプレックス選択)が切り換わります

4 選んだ機能を操作する

BSSM 設定

ロータリーコマンドーを押すごとに、ON / OFF します。BSSMが終了すると、自動的にチャンネルリストに切り換わります。

マルチプレックス選択

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で切り換わります。

MAIN→SUB→M+S→MAINに戻る



BSSM とは

● BSSMは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略です。



メモ

- ファンクションメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。(30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

チャンネル一覧から見たいチャンネルを呼び出す

チャンネルリスト

チャンネルリスト機能に対応しているテレビ(例:「AVX-P7J」)を接続したときだけ、操作できる機能です。

1～12の番号に登録したチャンネルを、チャンネルの一覧(チャンネルリスト)の中から探すことができます。

1 BAND ボタンを押す

バンドを選ぶ

2 LIST ボタンを押す

チャンネルリストが表示されます

3 ロータリーコマンドーを回す

チャンネルが切り換わります

次のチャンネルを選ぶとき: 右に回す

前のチャンネルを選ぶとき: 左に回す

4 見たいチャンネルが表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す

選んだチャンネルが受信されます



知っていると便利

- ロータリーコマンドーを長く押すと、表示されている登録番号に現在受信しているチャンネルを登録することができます。



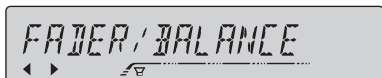
メモ

- リストの表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンまたはLIST ボタンを押します。
- チャンネルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

オーディオ調整メニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオ調整メニューで機能を選んで操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

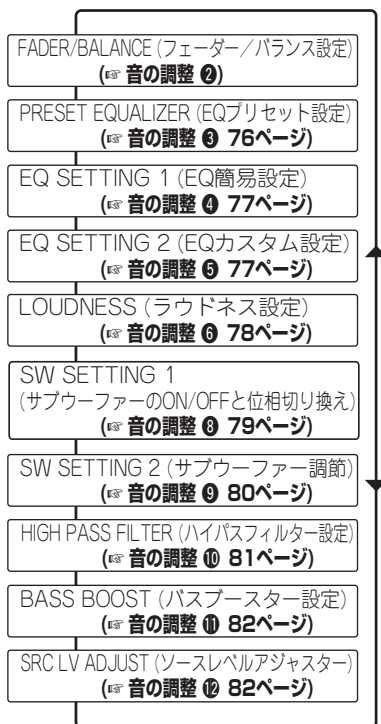
メインメニューが表示されます

2 オーディオ調整メニューにする

ロータリーコマンドを回してAUDIOを選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります



メモ

- オーディオメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)
- リアスピーカー出力端子/RCA出力端子の設定(初期設定 ④ 86ページ)でPREOUT :REARを選んでいているときは、SW SETTING1には切り換わりません。
- SW SETTING 2は、SW SETTING 1がONのときだけ選べます。
- ラジオのFMを聞いているときは、SRC LV ADJUSTには切り換わりません。
- TELEPHONE ソースまたは交通情報(便利な機能 ② 92ページ)の受信中は、FADER/BALANCE 以外には切り換わりません。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー／バランス

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。



メモ

- ロータリーコマンドを上下に操作して、前後左右のバランスを調節することもできます。



注意

- リアスピーカー出力端子／RCA出力端子の設定 (※初期設定 ④ 86 ページ) を、Rear SP :S/W にしたときは、Fader (フェーダー) は調節できません。

5

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

1

FADER/BALANCE にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



3

ロータリーコマンドを押す

FAD(フェーダー：前後のバランス)とBAL(バランス：左右のバランス)が切り換わります

4

ロータリーコマンドを回す

音量バランスを調節する

■ 前後を調節するとき

前を強める：手順3でFADを選び、右に回す
 後ろを強める：手順3でFADを選び、左に回す
 前後のバランスは、F15～R15の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める：手順3でBALを選び、右に回す
 左を強める：手順3でBALを選び、左に回す
 左右のバランスは、L15～R15の範囲で調節できます。

イコライザーカーブを選択する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、好みの音質にできます。



ご注意

- 交通情報を受信しているときや電話の待ち受けソースを選んでいるときは、イコライザーカーブを選べません。

1

PRESET EQUALIZERにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

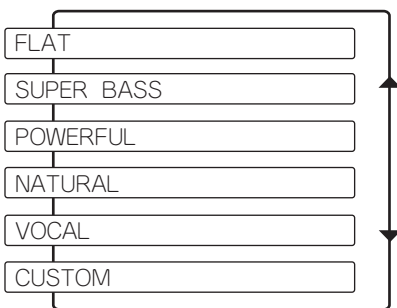
画面例



3

ロータリーコマンドーを回す

次の順序でイコライザーカーブが切り換わります



メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、イコライザーカーブを切り換えることもできます。

4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- CUSTOMは、お好みに合わせて調節した値が登録されます。(※ 音の調節 ④、⑤ 77ページ)
- FLATは、イコライザーによる音の補正がされていません。

イコライザーカーブを だまかに補正する

ニュアンスコントロール

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの簡単な補正ができます。



メモ

- 調節した内容はCUSTOMに登録されます。

1 EQ SETTING 1 にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを押す

設定する音域を選びます

音域は、L（低音域）、M（中音域）、H（高音域）の中から選べます。

4 ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節します

レベルを大きくする：右に回す

レベルを小さくする：左に回す

レベルは-6～+6の範囲で調節できます。



メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、レベルを調整することもできます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

イコライザーカーブを 細かく調節する

EQプリセット設定で選択したイコライザーカーブをお好みに合わせて詳細に設定することができます。



メモ

- 調節した内容はCUSTOMに登録されます。

1 EQ SETTING 2 にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

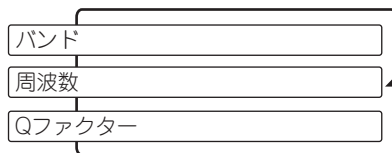
現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを押す

次の順序で設定する項目が切り換わります



4 ロータリーコマンドーを回す

■ バンドの設定

バンド(周波数帯域)は、LOW（低音域）、MID（中音域）、HI（高音域）の中から選ぶことができます。

■ 周波数の設定

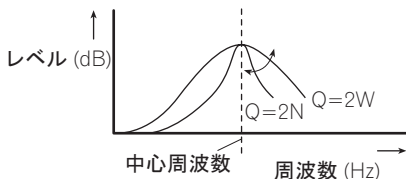
音の中心になる周波数を選びます。
 高い周波数を選ぶ：右に回す
 低い周波数を選ぶ：左に回す
 選べる値は、バンドによって異なります。
 周波数は次の範囲で設定できます。
 LOWを選んだ場合：40 80 100 160
 MIDを選んだ場合：200 500 1K 2K
 HIを選んだ場合：3K 8K 10K 12K

■ Qの設定

選んだバンドのQファクター（イコライザーカーブの傾き）を選択します。
 傾きを大きくする：右に回す
 傾きを小さくする：左に回す

**Qファクターについて**

- Qファクターの傾きは2Nが最も急で、1N、1W、2Wの順に緩やかになります。

**メモ**

- ロータリーコマンドを上下に操作して、各項目を設定することもできます。

5**BAND/ESC ボタンを押す**

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節
6**小さな音量でも聞きやすくする****LOUDNESS**

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。LOUDNESSは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1**LOUDNESS にする**

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2**ロータリーコマンドを押す**

現在の設定内容が表示されます

画面例**3****ロータリーコマンドを回す**

LOUDNESSの効果を選べます

HIGH (強)、MID (中)、LOW (弱)、OFFの中から選べます。

**メモ**

- ロータリーコマンドを上下に操作して、LOUDNESSの効果を選ぶこともできます。

4**BAND/ESC ボタンを押す**

ふだんの再生画面に戻ります

サブウーファーを使う

本機では、リアスピーカー端子または、RCA出力端子に接続したサブウーファーを調整できます。サブウーファーの調節は、

- 1 サブウーファーのON/OFFと位相切り換え
- 2 サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

の2ステップで行います。

「サブウーファーの設定について」(※はじめに ④ 14 ページ) を参照して、お手持ちのシステムに合ったサブウーファーの設定を行ってください。



ご注意

- リアスピーカー出力端子/RCA出力端子の設定 (※初期設定 ④ 86 ページ) でPREOUT :REARに設定したときは、サブウーファーの調節はできません。
- サブウーファーのON/OFFと位相切り換え (※音の調節 ⑧) で、サブウーファーをOFFにした場合は、サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 (※音の調節 ⑨ 80 ページ) は操作できません。

サブウーファーのON/OFFと位相切り換え

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーの設定をONにする必要があります。

ONにしたあと、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。



位相切り換えとは

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

正相：サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される

逆相：サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 SW SETTING 1 にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます
画面例



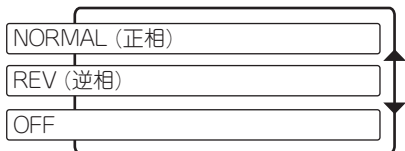
次のページへ続く

<つづき>

サブウーファー

3 ロータリーコマンドを回す

次の順序でサブウーファーの設定が切り換わります



メモ

- ロータリーコマンドを上下に操作して、サブウーファーの設定を切り換えることもできます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節

9

サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

サブウーファーから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベルを設定します。他のスピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 SW SETTING 2 にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドを押す

カットオフ周波数とレベルが切り換わります

選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力します。フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力させ、サブウーファーからは低音だけを出力させることで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にすることができます。



ハイパスフィルター (HPF) とは

- ハイパスフィルター (HPF) は、設定した周波数 (カットオフ周波数) から下の音域 (低音域) をカットして、高音域を通すフィルターです。



カットオフ周波数とは

- (※ 音の調節 ⑨ 80 ページ)

1 HIGH PASS FILTER にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



3

ロータリーコマンドーを回す

カットオフ周波数を選ぶ

高い周波数を選ぶ：右回し

低い周波数を選ぶ：左回し

カットオフ周波数は、OFF、50、63、80、100、125 (Hz) の中から選べます



メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、周波数を切り換えることもできます。

4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

4 ロータリーコマンドーを回す

■ カットオフ周波数の設定

高い周波数を選ぶ：右に回す

低い周波数を選ぶ：左に回す

カットオフ周波数は、50、63、80、100、125 (Hz) の中から選べます。

■ レベルの調節

レベルを大きくする：右に回す

レベルを小さくする：左に回す

レベルは、-24～+6の範囲で調節できます。



メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、各項目を設定することもできます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節

11

低い音を強調する

バスブースター

低音域を強調することができます。バスブースターのレベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 BASS BOOSTにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節する

レベルを大きくする：右に回す

レベルを小さくする：左に回す

レベルは0～6の範囲で設定できます。



メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、レベルを調節することもできます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節

12

各ソースの音量をそろえる

ソースレベルアジャスター

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。ソースレベルアジャスターを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



ご注意

- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

1 SRC LV ADJUSTにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



3 ロータリーコマンドーを回す

レベルを調節する

レベルを大きくする：右に回す

レベルを小さくする：左に回す

レベルは-4～+4の範囲で設定できます。



メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、レベルを調節することもできます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調整」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。

画面例



使いたい機能を選ぶ

1 SRC ボタンを長く押す

本機の電源をOFFにします

2 ロータリーコマンドを長く押す

初期設定メニューに切り換わり、**CLOCK SET**と表示されます

3 ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります



メモ

- ロータリーコマンドを上下に操作して、機能を切り換えることもできます。
- 初期設定メニューを解除するときは、BAND ボタンを押します。(初期設定メニューを解除すると、電源がOFFになります。)

時計を合わせる

本機のディスプレイに表示する時計の調整ができます。

1 CLOCK SETにする

( 初期設定 ①)

2 ロータリーコマンドを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



メモ

- 初期設定メニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。

3 ロータリーコマンドを押す

時と分が切り換わります

4 ロータリーコマンドを回す

時刻を合わせます

時刻を進める：右に回す

時刻を戻す：左に回す

分を調整すると、0秒からカウントが始まります。

5 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

本機にポータブル音楽再生機器やVTR、ナビゲーションユニットなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

外部機器の接続には、次の3通りがあります。

- ①市販のミニプラグを使用する場合 (AUX1)
- ②別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合 (AUX2)
- ③IP-BUSを使用する場合 (AUX2)
(パイオニア製ナビゲーションユニットのように、IP-BUS出力を持つパイオニア製品を接続する場合)



ご注意

- AUX2は、②と③のどちらか一方の接続方法で使用できます。(両方の接続方法を同時に使用することはできません。)

①市販のミニプラグを使用する場合

本体前面のAUX入力端子 (3.5 mm) に接続します。( はじめに ② 9 ページ)

この場合、接続した外部機器は、AUX1 ソースとして認識されます。

②別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合

接続する外部機器にRCA出力がある場合、別売のRCA / IP-BUS インターコネクター「CD-RB10」または「CD-RB20」を使用して、本機のIP-BUS入力端子に接続します。接続した外部機器は、AUX2 ソースとして認識されます。詳しくは、RCA / IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

③IP-BUSを使用する場合 (パイオニア製ナビゲーションユニットを接続する場合)

別売のIP-BUSケーブル (例：「CD-IP600」) を使用して、本機のIP-BUS入力に接続します。接続したナビゲーションユニットはAUX2 ソースとして認識され、音声のみが出力されます。

次のページへ続く

1 AUX1 :ONまたは AUX2 :ONにする

(☞ 初期設定 ① 84 ページ)

外部機器設定がOFFになっている場合はAUX1 :OFFまたはAUX2 :OFFと表示されます。

2 ロータリーコマンドを押す

外部機器設定がOFFになります

もう一度押すと、ONになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります



メモ

- AUX1は、初期設定がONになっています。AUX1を使用しない場合は、OFFにします。
- 外部機器の名称は、変更できます。接続した機器に合わせて名称を変更すると便利です。外部機器の名称を変更するには、(☞ 便利な機能 ⑥ 94 ページ)
- シガーライターからポータブルプレーヤーの充電を行いつつAUX入力で音楽を聞くと、ノイズが出る場合があります。その場合は、シガーライターからの充電をおやめください。

初期設定

4

リアスピーカー出力端子/ RCA 出力端子の設定をする

リアスピーカー出力端子は、フルレンジスピーカーのほかサブウーファーを接続できます。この場合、外部アンプは不要です。またRCA出力端子は、外部アンプを接続して、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。

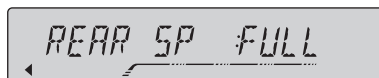
1 SW CONTROLにする

(☞ 初期設定 ① 84 ページ)

2 ロータリーコマンドを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



メモ

- 初期設定メニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。

スクロールの設定を切り換える

連続スクロール

連続スクロール設定をONにすると、CDのタイトルなどが連続してスクロールようになります。スクロールを一度だけにしたときは、この機能をOFFにします。

1 EVER SCROLL :OFFにする

(初期設定 ① 84 ページ)



メモ

- 連続スクロール設定がONになっている場合は、EVER SCROLL :ONと表示されます。

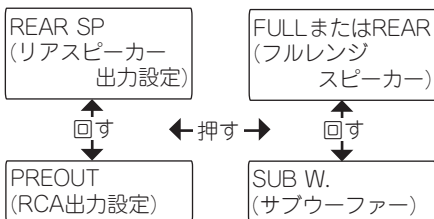
2 ロータリーコマンドを押す

連続スクロール設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

3 ロータリーコマンドを操作する



接続のしかたに合わせて、次のとおり設定してください。

リアスピーカー出力端子にフルレンジスピーカーを接続： REAR SP :FULL

リアスピーカー出力端子にサブウーファ어를接続： REAR SP :SUB W.

RCA出力端子にサブウーファ어를接続： PREOUT :SUB W.

RCA出力端子にフルレンジスピーカーを接続： PREOUT :REAR



REAR SP :SUB W.に設定した場合のご注意

- リアスピーカー出力端子の設定をサブウーファールにした場合(REAR SP :SUB W.)、RCA出力端子の設定はできません。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

初期設定

6

Bluetooth オーディオ
ソースをONにする

BT AUDIO

Bluetooth 無線技術を利用して、Bluetooth 対応機器を接続できます。Bluetooth 対応機器を接続している場合、BT AUDIO ソースの設定をONにします。



ご注意

- この機能は、別売の Bluetooth アダプター（例：「CD-BTB10」）を接続しているときだけ操作できます。
- 初期状態では、ON になっています。

1

BT AUDIO :ON にする

☞ 初期設定 ① 84 ページ



メモ

- BT AUDIO 設定がOFFになっている場合は、BT AUDIO :OFF と表示されます。

2

ロータリーコマンドを押す

BT AUDIO 設定がOFFになります

もう一度押すと、ONになります。

3

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

初期設定

7

Bluetooth のパス
コードを変更する

Bluetooth 接続時に使用する暗証番号（パスコード）を変更できます。初期設定は、「0000」になっています。



ご注意

- この機能は、別売の Bluetooth アダプター（例：「CD-BTB10」）を接続しているときだけ操作できます。
- 空白は入力できますが、無効な文字です。空白を入力した場合、以下の制限があります。
 - －途中で空白を入力した場合、それ以降の文字が無効となってパスコードが確定されます。
 - －先頭に空白を入力した場合、パスコードは確定されません。もう一度、パスコードを編集してください。

1

PIN CODE INPUT にする

☞ 初期設定 ① 84 ページ

2

ロータリーコマンドを押す

入力画面が表示されます



メモ

- 初期設定メニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。

3

ロータリーコマンドを回す

入力する数字を選ぶ

次の数字を選ぶ：右に回す

前の数字を選ぶ：左に回す

4

ロータリーコマンドを押す

カーソルを右に移動できます

Bluetoothのバージョンを表示する

本機のBluetoothのバージョン情報を表示させることができます。



ご注意

- この機能は、別売のBluetoothアダプター（例：「CD-BTB10」）を接続しているときだけ操作できます。

1

BT VER INFO にする

(初期設定 ① 84 ページ)

2

ロータリーコマンドを押す

システムのマイコンのバージョン(Sで始まる文字列)が表示されます



メモ

- 初期設定メニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。

3

ロータリーコマンドを回す

システムのマイコンのバージョン(Sで始まる文字列)とBluetoothデバイスモジュールのバージョン(Bで始まる文字列)が切り換わります

4

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

5 ロータリーコマンドを長く押す

確定した数字が表示されます



メモ

- 空白を残したままでも、ロータリーコマンドを長く押して入力を確定できます。
- パスコード入力中(数字が点滅しているとき)にBACK ボタンを押すと、入力画面が解除されて、初期設定メニューに戻ります。

6

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

イルミネーションの色を調節する

赤、緑、青の3色のレベルを調節することにより、ディスプレイおよびボタンのイルミネーション用にお好みの色を作ることができます。

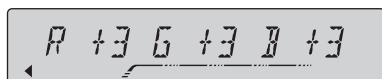
1 CUSTOM COLOR にする

(※ 初期設定 ① 84 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押す

現在の設定内容が表示されます

画面例



メモ

- 初期設定メニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。

3 ロータリーコマンドーを押す

調節する色を選びます

R(赤)、G(緑)、B(青)の中から選ぶことができます。

4 ロータリーコマンドーを回す

色のレベルを設定する

レベルを大きくする：右に回す

レベルを小さくする：左に回す

レベルは、0～4の範囲で設定できます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります



メモ

- 調整した色はCUSTOMに自動的に登録されません。
(※ 便利な機能 ③、④ 93 ページ)
- CUSTOMに登録された内容は、ディスプレイおよびボタンのイルミネーションに共通です。

便利な機能

1

時計を表示する

本機のディスプレイに時計を表示できます。時計は、本機の電源がONまたはOFFのどちらの場合でも表示できます。



メモ

- 時計を合わせるには、(☞ 初期設定 ② 85 ページ)

1

TI ボタンを長く押す

時計が表示されます

もう一度TI ボタンを長く押すと、時計表示が解除されます。



メモ

- 本機の電源がONのときの時計の表示は、ほかの操作をするといったん、解除されます。この場合、25秒後に再び表示されます。

便利な機能

2

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源OFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

1

TI ボタンを押す

交通情報を受信します

もう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2

ロータリーコマンドーを操作する

交通情報の周波数を切り換えます

1 629 kHz を選ぶ：右に操作する

1 620 kHz を選ぶ：左に操作する



知っていると便利

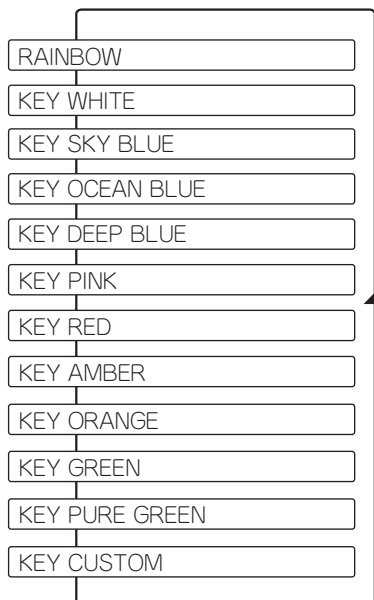
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

ボタンのイルミネーションの色を切り換える

ボタンのイルミネーションの色を変えることができます。

1 ILL ボタンを押す

押すごとに、次の順序で色が切り換わります



メモ

- RAINBOWに設定した場合、ボタンのイルミネーションの色とディスプレイの色をWHITEからPURE GREENの順に切り換えて表示します。
- ボタンイルミネーションカラー切り換え中にILLボタンを長く押すと、ディスプレイカラー切り換えに移行します (※ 便利な機能 4)。ただし、RAINBOW選択時は移行しません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(約8秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)



LCD CUSTOMについて

- KEY CUSTOMには、お好みに合わせて調整した色が登録されます。(※ 便利な機能 9 90ページ)

ディスプレイの色を切り換える

ディスプレイの色を変えることができます。



ご注意

- ボタンのイルミネーションの色をRAINBOWに設定している場合、ディスプレイの色を切り換えることはできません。

1 ILL ボタンを長く押す

現在の色の設定が表示されます

2 ILL ボタンを押す

押すごとに、次の順序で色が切り換わります



メモ

- ディスプレイカラー切り換え中にILLボタンを長く押すと、ボタンイルミネーションカラー切り換えに移行します。(※ 便利な機能 3)
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(約8秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)



DISP CUSTOMについて

- DISP CUSTOMには、お好みに合わせて調整した色が登録されます。(※ 初期設定 9 90ページ)

便利な機能

5

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) 名称入力

外部機器 (AUX1、AUX2) の名称を本機に入力して、ディスプレイに表示できます。

例えば、VTRを外部機器として本機に接続した場合は、初期状態で表示されるAUX1またはAUX2をVTRに変更して表示できます。

1

SRC ボタンを押す

AUX1 または AUX2 を選ぶ

2

ロータリーコマンドーを押す

メインメニューが表示されます

3

TITLE INPUT にする

ロータリーコマンドーを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドーを押す

4

AUX (外部機器) の名称を入力して登録する

CDのタイトル入力の手順2以降を参照し、同様の操作でAUX (外部機器) の名称を入力してください。(☞ CD 7 28 ページ)



メモ

- 外部機器の名称は、10文字まで入力できます。

便利な機能

6

ミュート機能について

ミュート機能のあるパイオニア製ナビゲーションシステムと本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。

エクスターナルユニットを使う



エクスターナルとは

- 本機には、エクスターナルという特殊なソースがあります。このソースには、本機がソースとして対応していない製品(将来発売されるパイオニア製品など)を接続できます。ただしエクスターナルでは、操作できる機能が限られる場合があります。本機には、2台のエクスターナル製品を接続できます。この場合、エクスターナル1とエクスターナル2が自動で設定されます。



ご注意

- ここでは、エクスターナルユニットの基本的な操作方法だけを説明しています。機能は、接続するエクスターナルユニットによって異なります。機能について詳しくは、エクスターナルユニットの取扱説明書をご覧ください。

ソースとしてエクスターナルユニットを選ぶ

SRC ボタンを押して EXTERNAL を選ぶ

ふだんの操作

BAND/ESC を押す

BAND/ESC を長く押す

ロータリーコマンドを左右に操作する

ロータリーコマンドを左右に長く操作して、離す

ロータリーコマンドを上下に操作する

1～6 キーに割り当てられた機能を使う



LIST ボタンを押す



**ロータリーコマンドを使って
1 KEY～6 KEYの中から選ぶ**

ロータリーコマンドを回して 1 KEY～6 KEY を選び、ロータリーコマンドを押す

ファンクションメニューの切り換え方



ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます



ファンクションメニューにする

**ロータリーコマンドを回して
FUNCTION を選び、ロータリーコマンドを押す**



ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります

FUNC1(ファンクション 1)→FUNC2(ファンクション 2)→FUNC3(ファンクション 3)→FUNC4(ファンクション 4)→AUTO/MANUAL(オート/マニュアル)



メモ

- S.Rtrv ボタンを押すことでも、FUNC1 を ON/OFF することができます。
- RDM/iPod ボタンを押すことでも、FUNC2 を ON/OFF することができます。
- RPT ボタンを押すことでも、FUNC3 を ON/OFF することができます。
- ファンクションメニューに戻るときは、BACK ボタンを押します。
- メインメニューに戻るときは、BACK ボタンを長く押します。
- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンを押します。

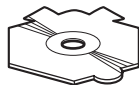
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）

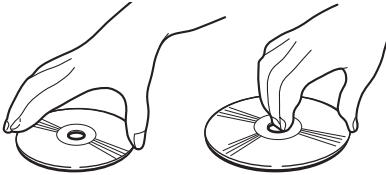
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」は使用しないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

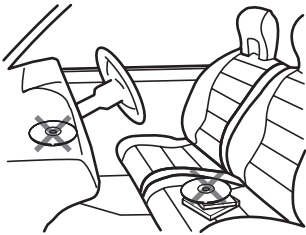


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けないでください。



保管上のご注意

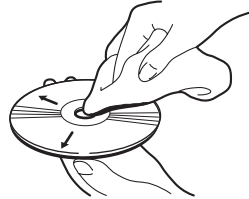
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。



- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

再生できる圧縮オーディオファイルについて

WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードすることができます。



ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32 kHz～48 kHz です。
- 一般的に WMA ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録された WMA ファイルの使用をおすすめします。
 - － CBR（固定ビットレート）では 48 kbps～320 kbps、VBR（可変ビットレート）では 48 kbps～384 kbps
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - － Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - － Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - － Windows Media Audio 9 Voice

再生できる WMA ファイルについて



ご注意

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。

MP3とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて



ご注意

- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。
- ID3 tagのVer. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- サンプリング周波数が32 kHz、44.1kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。なお、再生可能なサンプリング周波数は、以下のとおりです。
 - － 16 kHz ~ 48 kHz
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下のMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたMP3ファイルの使用を推奨します。
 - － 8 kbps ~ 320 kbps

AACとは？

- 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて



ご注意

- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
 - － 11.025 kHz ~ 48 kHz
- 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、16 kbps ~ 320 kbpsのステレオビットレートで記録されたAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録されたAACファイルの使用を推奨します。VBR (可変ビットレート) で記録されたAACファイルは再生できません。

- iTunes ミュージックストアで購入された楽曲(.m4p)は、CD-R / CD-RW または USB 機器に記録しても再生できません。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - － Apple ロスレス・エンコーダ

WAV とは？

- 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

再生できる WAV ファイルについて



ご注意

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子(.wav)を付けしないでください。
- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz ~ 48 kHz、MS ADPCM 形式では 22.05 kHz ~ 44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数が多いほど音質は良くなります。本機は、LPCM では 8 bit / 16 bit、MS ADPCM では 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きい量子化ビット数で記録された WAV ファイルの使用を推奨します。

使用できる USB 機器について

以下の条件を満たす USB 機器が使用できます。

- 規格：USB 2.0、1.1、1.0
- データ転送速度：Full Speed
- USB クラス：MSC (Mass Storage Class) デバイス
- プロトコル：バルク
- 最大メモリー容量：250 GB
- 最小メモリー容量：250 MB
- ファイルシステム：FAT 32、FAT 16
- 供給電流：500 mA



ご注意

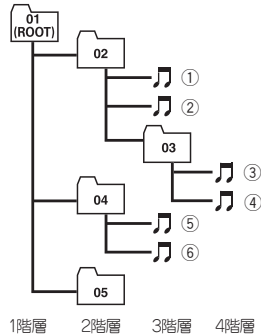
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは使用できません。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB 機器は、本機のケーブルに直接接続してください。USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

対応している圧縮オーディオファイルについて

- USB 機器に収録された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できます。
- 再生できるファイルの合計は、最大 15 000 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 500 フォルダーです。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma、.mp3、.m4a、.wma) を含めて半角で 64 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で 64 文字までです。ただし、文字コードの種類によって、最大表示文字数は半角で 32 文字になる場合があります。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。

USB メモリー内のフォルダーについて

- USB メモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01～05はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリーにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - ① パソコンで、[001xxx.mp3] や [099yyy.wma] など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - ③ フォルダー単位で USB メモリーにコピーする。ただし、パソコンの環境によってはこの方法で指定できない場合もあります。

その他
4

iPod について



ご注意

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPodの取り扱いについて詳しくは、iPodの説明書をお読みください。

iPod の設定について

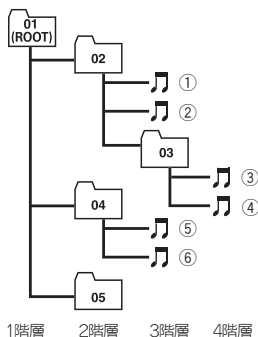
- 本機からiPodのイコライザは操作できません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを「オフ」に設定することをおすすめします。
- iPodを本機に接続している場合、iPodのリピートは「オフ」に設定できません。また、iPodのリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

その他
5

ディスク上の圧縮オーディオファイルについて

フォルダーと圧縮オーディオファイルについて

- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを収録したCD-R / CD-RW / CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA / MP3 / AAC / WAVファイルが記録されたCD-R / CD-RW / CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子（.wma、.mp3、.m4a、.wav）を含めて半角で64文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で64文字までです。
- 拡張フォーマット（Romeo）に準拠して記録されたファイルの場合、半角で先頭から64文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを、WMA／MP3／AAC／WAVファイルとしてCD-R／CD-RW／CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクに、WMA／MP3／AAC／WAVファイルと音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、WMA／MP3／AAC／WAVファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り換えることができます（※ **ここだけで ② 18ページ**）。WMA／MP3／AAC／WAVファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA／MP3／AAC／WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。（フォルダー番号を表示せず、スキップします。）
- 8階層までのWMA／MP3／AAC／WAVファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と 思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」(**その他 ⑧ 109
ページ**) をお読みになり、
修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう 一度確認してください。(取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒュー ズと同じ容量のものと交換してください。 (取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を上げてください。 (ここだけで ① 16 ページ)
	音声ミュートされている。	ミュートを解除してください。 (ここだけで ⑥ 23 ページ)
	アッテネーターがONになっ ている。	アッテネーターを解除してください。 (はじめに ② 11 ページ)
	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (音の調節 ② 75 ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (音の調節 ② 75 ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (音の調節 ② 75 ページ)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (※ ここだけで② 20 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (※ ここだけで② 20 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (※ ここだけで② 20 ページ)

CD、WMA / MP3 / AAC / WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDに交換してください。良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。CDを再生できない。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (※ その他 ① 96 ページ)
	CDにくもりや水滴が付いている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (※ その他 ① 96 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (※ その他 ① 96 ページ)
CDを再生できない。CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	▲ボタンを長く押すと、ディスクを取り出せません。もう一度、入れ直してください。

こんなメッセージが表示されたら

CD、WMA / MP3 / AAC / WAVのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられる。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	CDが汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。
	CDにキズやひびがある。	CDを交換してください。
「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」	CD-R / CD-RWを録音しないまま使用している。	CD-R / CD-RWは録音してからお使いください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入した。	CDを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入した。	WMA / MP3 / AAC / WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	CDを交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生した。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。



メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

USBのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	USB コネクタまたはUSB ケーブルがショートした。	USB コネクタ／USB ケーブルが何か に挟まっていないか、破損していない か確認してください。
	規定 (※ その他 ③ 100ページ) 以上の電流を消費するUSB 機器 を接続した。	接続したUSB 機器を外してください。 そのあとで、車のエンジンスイッチを一 度OFFにしてからONにしてください。 次に、対応するUSB 機器を接続してく ださい。
「N/A USB」	接続されたUSB 機器が本機に対 応していない。	USB Mass Storage Class 対応のUSB 機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収 録・保存されたUSB 機器を接続してく ださい。
	セキュリティー機能付きのUSB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セ キュリティーを解除してから使用してく ださい。
「PROTECT」	USB 機器内のすべてのWMA ファイルが Windows Media DRM 9／10 で保護されている。	Windows Media DRM 9／10 で保護 されていない圧縮オーディオファイルを 収録・保存したUSB 機器を接続してく ださい。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9／10 で保護されたWMA ファイルを 再生した。	Windows Media DRM 9／10 で保護 されていない圧縮オーディオファイルを 再生してください。

iPodのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」 「ERROR-A1」	iPodは動作するが、充電されない。	iPodケーブルがショートしていないか(例えば、金属物に挟まれていないか)確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、iPodを一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPodに問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。
「N/A USB」	iPodソフトウェアのバージョンが古い。 iPodに問題が発生した。	iPodソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 iPodをリセットしてください。
「ERROR-16」	iPodソフトウェアのバージョンが古い。 iPodに問題が発生した。	iPodソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。
「NO SONGS」	iPodに曲が入っていない。	iPodに曲を転送してください。
「STOP」	選んだプレイリストに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10.0 A

外形寸法：

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) × 46 (H) × 22 (D) mm

質量：

1.3 kg (コード含まず)

■ アンプ/オーディオ部

最大出力：

50 W × 4

50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω (for サブウーファー)

定格出力：

22 W × 4

(50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD)

負荷インピーダンス：

4 Ω ~ 8 Ω × 4

4 Ω ~ 8 Ω × 2 + 2 Ω × 1

プリアウト最大出力レベル：

2.2 V

出力インピーダンス：

1 k Ω

イコライザー

(3バンド グラフィック イコライザー)：

(LOW)：

周波数: 40 / 80 / 100 / 160 Hz

Q ファクター: 0.35 / 0.59 / 0.95 / 1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

(MID)：

周波数: 200 / 500 / 1K / 2K Hz

Q ファクター: 0.35 / 0.59 / 0.95 / 1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

(HIGH)：

周波数: 3.15K / 8K / 10K / 12.5K Hz

Q ファクター: 0.35 / 0.59 / 0.95 / 1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

ラウドネスコンター：

(LOW)：

3.5 dB (100 Hz)

3 dB (10 kHz)

(MID)：

10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

(HIGH)：

11 dB (100 Hz)

11 dB (10 kHz)

(ボリューム：-30 dB)

ハイパスフィルター：

周波数: 50 / 63 / 80 / 100 / 125 Hz

スロープ: -12 dB / oct

サブウーファー出力：

周波数: 50 / 63 / 80 / 100 / 125 Hz

スロープ: -18 dB / oct

調整幅: +6 dB ~ -24 dB

位相: NORMAL / REVERSE

バスブースター：

調整幅: +12 dB ~ 0 dB

■ CD プレーヤー部

形式：

コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク：

コンパクトディスク

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

44.1 kHz

量子化ビット数：

16ビット直線

周波数特性：

5 Hz ~ 20 000 Hz (±1 dB)

S/N比：

94 dB (1 kHz)

(IHF-Aネットワーク)

ダイナミックレンジ：

92 dB (1 kHz)

チャンネル数：

2 (ステレオ)

WMA デコーディングフォーマット：

Ver. 7, 7.1, 8, 9, 10, 11 (2 ch audio)

(Windows Media Player)

MP3 デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AAC デコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC

(Ver. 7.2 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)

WAV シグナルフォーマット：

Linear-PCM, MS ADPCM

■ USB部

USB規格：

USB 2.0 Full Speed

最大供給電流：

500 mA

最大メモリー容量：

250 GB

ファイルシステム：

FAT16、FAT32

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7、7.1、8、9、10、11 (2 ch audio)
(Windows Media Player)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC
(Ver. 7.2以前のiTunesでエンコードされたもののみ)

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.0 MHz～90.0 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μ V / 75 Ω 、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30 Hz～15 000 Hz (\pm 3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522 kHz～1 629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μ V (S/N：20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット	: 1式
USBケーブル	: 1
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	: 1



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2007

< KMIZX > < 07100000 > < YRA5046-A/S >